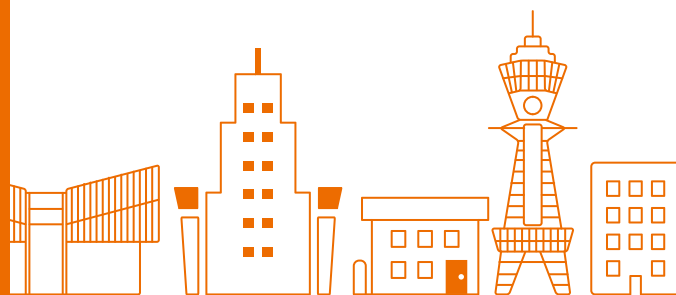


Annual Report

2015

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL OSAKA

The Creed of Junior Chamber International We Believe : That faith in God gives meaning and purpose to human life; That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations; That economic justice can best be won by free men through free enterprise; That government should be of laws rather than of men; That earth's great treasure lies in human personality; and That service to humanity is the best work of life.



Contents

- 02 青年会議所とは
- 06 理事長所信
- 08 2015年度 組織図
- 10 理事長あいさつ
- 11 直前理事長あいさつ
- 12 役員あいさつ
- 18 2015年度 JCI大阪の活動
- 26 市民社会グループ
- 27 ソーシャルデザイン室
- 28 大阪の未来選択委員会
- 31 ソーシャルデザイン委員会
- 34 グローバルデザイン室
- 35 社会の力創造委員会
- 38 グローバルデザイン委員会
- 41 グローバルネットワーク確立委員会
- 44 会員開発委員会 山本委員会
- 47 会員開発委員会 河野委員会
- 50 人創りグループ
- 51 未来のリーダー育成室
- 52 未来の力創造委員会
- 55 未来のリーダー育成委員会
- 58 グローバルリーダー創造室
- 59 チェンジメーカー創造委員会
- 62 グローバルリーダー育成委員会
- 65 資質向上グループ
- 66 感性価値創造室
- 67 感性価値創造委員会
- 70 感性コミュニケーション確立委員会
- 73 総務グループ
- 74 総務室
- 75 渉外委員会
- 78 JCI大阪発信委員会
- 81 総務財政委員会
- 84 65周年記念式典・特別記念講演
- 86 月例会
- 87 会員大会・卒業式
- 89 2015年度 会員褒賞
- 91 2015年度 メディア掲載一覧
- 95 2015年度 主な広報制作媒体 (委員会別)

青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1950年には大阪青年会議所が国内で2番目に創設され、日本JCという国家青年会議所を設立するための重要メンバーとして関わっていきました。また各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条（トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」、フレンドシップ「世界を結ぶ友情」）のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

大阪青年会議所の特性

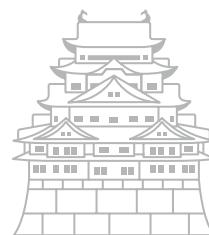
青年会議所には品格のある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、大阪青年会議所では25歳から40歳までという年齢制限を設けています。（但し入会資格は満25歳から37歳まで）これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

大阪青年会議所の歴史

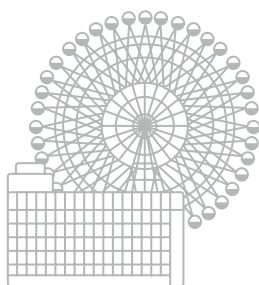
1950年	大阪青年会議所創立	
1951年	日本青年会議所創立	
1957年	「整肢学院児童招待ドライブ」を開始	
1962年	「JCI アジアコンファレンス」を大阪にて開催	
1970年	万国博野外劇場施設及び参加催物の提供	
1974年	淀川改修 100 年を記念して「淀川 100 野外祭」を開催	
1974年～83年	「淀川マラソン」を実施	
1980年	「JCI 世界会議大阪大会」を開催	
1980年～	「キッズスワップ（交換ホームステイ）」を開始	
1980年～89年	「国際シンポジウム」を開催	
1981年	「TOYP（The Outstanding Young Person）大阪会議」を開催	
1982年	「わんぱく相撲」を実施	
1985年～	天神祭「船渡御」への能、文楽、歌舞伎船での参加	
1986年	「Save The Children Japan（SCJ）」設立（大阪 JC が中心となって設立）	
1990年～93年	「エスノポップイン大阪（アジアの音楽祭）」を開催	
1992年	「地球市民大阪ひろば（市民参加型集約事業）」を実施	
1995年	阪神淡路大震災における組織的支援活動 国連広報局より NGO として承認	
1996年	「大阪 NPO センター」設立（大阪 JC が中心となって設立） 「大阪モデル国連会議（OMUN）」開催	
1997年	「ふれ愛ピック大阪後夜祭」を実施 第 33 回全国身障者スポーツ大会の後夜祭を運営し、多くの市民の皆さんと感動を共有	

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する
確かな時代を築くために
率先して行動することを
宣言する



綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を
築き上げよう



1998年	「第2回世界遺産国際ユースフォーラム 1998」を開催
2000年	大阪 JC 創立 50 周年記念植樹「大阪 JC 実りの森」を実施 「大阪 JC 創立 50 周年記念式典・祝賀会」開催
2001年	「日本 JC 第 50 回全国会員大会大阪大会」開催
2002年	「豊かな地球創造ミッション」を実施
2003年	次世代教育推進事業「根っ子学校」設立提言
2004年	「淀川どろんこ探検隊」実施 絵本『くものこレース』出版
2005年	「大阪市長選公開討論会」実施 『もうあきまへん浪速独立宣言』出版
2006年	「アメリカ村落書き消し事業」実施
2007年	社会人講師を学校に派遣した「フレ愛応援団事業」実施
2008年	インド・ニューデリーの JCI 世界会議にて、 「2010 年度 JCI 世界会議」が大阪に決定
2010年	「大阪 JC 創立 60 周年記念式典・祝賀会」開催 「第 65 回 JCI 世界会議」を大阪にて実施
2011年	公益法人制度改革に伴う法人格選択で、「一般社団法人」を選択
2012年	「第 67 回 JCI 世界会議 台北大会」でプノンペン JC とシスター JC 締結
2013年	淀川「花は咲く」プロジェクト実施
2014年	一般社団法人へ法人格を移行
2015年	「大阪 JC 創立 65 周年記念式典」開催



第 65 回 JCI 世界会議大阪大会



創立 65 周年記念式典

感性価値を創造する
社会をRE・
五感を研ぎ澄まし



都市大阪の実現

DESIGN

未来を創造する！



感性価値を創造する都市大阪の実現

～ 社会を RE・DESIGN ～

「すべての生命、空気、水、土などが有機的につながって生きている地球、それ自体が一つの大きな生命体である」ジェームス・E・ラブロック教授が1979年に提唱したガイア説です。地球は絶妙なバランスで環境を創り、すべての生命体を守るために変化するシステムを備え生きているのです。私たちの社会もすべてとつながりながら成り立ち、取り巻く環境の変化に合わせてバランスを保ちながら変化し続けねばなりません。急速なグローバル化による国際関係の変化、財政問題の深刻化、少子化と高齢化による人口減少、山積する教育問題等、戦後70年かつ震災後という新しい時代を切り拓く岐路に立つ現在の日本、そして大阪。現実から目を背けがちな私たちは、未来に対してただ漫然とした不安を抱くばかりで、自ら変化することを止めてはいないでしょうか。だからこそ、地球がバランスを保ちながら変化し続けるように、私たちも大阪の都市や日本はもちろん、世界全体や地球そのものにも目を向け、決断を恐れず覚悟をもって変化しなくてはなりません。

この国には、四季が織りなす豊かな自然の上に悠久の歴史があり、花鳥風月を愛でる文化や万物に生命を感じる精神性等から紡がれた独自の価値観があります。こうした多くの目に見えない資産から醸し出される空気や風を感じ取る感性こそが日本の力です。元来より感性豊かな人材を育ててきた大阪という都市には、感性豊かな民が官を助け都市を創り上げてきた歴史があります。今を生きる私たちも当事者として社会の問題を感じ取り、解決に向けて市民の意志で決断しなくてはなりません。そのために、過去から受け継いだ素晴らしい資産も負の遺産もすべてを深く受け止めることから始めたいのです。時代の変わり目を生きる私たちは、突きつけられた現実から目を背けず、伝統という言葉で誤摩化された悪しき因習にとらわれず、比較優位な経済的恩恵が招いた人任せで麻痺しつつある感性を見つめ直し、小異に惑わされず民の想いを集め、常に新しい風を起こす発信源とならなければなりません。私たちは、地球全体を一つの生命体と捉え、継承してきた普遍の精神性に耳を傾け、時代の変革期にかつての青年が抱いた創始の志であるフロンティアスピリットを呼び覚まし、感性あふれる市民と協働し変化の先鞭となって大阪をRE・DESIGN、感性価値を創造する都市大阪を実現します。

「社会を RE・DESIGN」

かつて天下の台所と呼ばれた大阪は民が自主独立の精神でまち

を創り上げ、明治後は大大阪として日本経済の中心的役割を果たしてきました。ところが現在の大阪は、第二の経済規模の都市とはいえない一つの地方都市にすぎないのが現実です。今こそ現状を打破し、国を超えて世界の未来を見据えた都市づくりを進める大きな転機を迎えています。都市の有り様として道州制の導入や大阪都構想等の選択肢が議論されているものの結論は未だに見出だせていません。都市の大規模化は効率化を図れる一方、各地地域特有の個性を失う可能性もあります。しかし、とどまることのないグローバル化の波を鑑みれば、大阪は広く世界に目を向け近畿を牽引し、アジアの中核都市として存在感を発揮しなくてはなりません。だからこそ、政治的不偏不党の立場を取りながらも、是非も含めて市民の声を集約し勇気をもって方向性を決し、停滞する現状を力強く打破しなくてはなりません。そして、近畿の都市をつなぐ役割を果たし、世界において存在感のある大阪を実現しなければならぬのです。

99%を中小企業が占める大阪の約20万の事業所にとって、グローバル化や東京への一極集中等、その経済環境は決して安穏としたものではありません。大阪経済の活況には中小企業の躍進と再生が不可欠です。私たちは、青年経済人として自らの企業活動に励むのももちろん、JCI OSAKAのネットワークで在阪企業独自の感性を活かした価値創造の一助を担うことが求められています。「企業は社会の公器である」企業人であれば誰もが知る松下幸之助翁の言葉です。現在の企業にはCSR、CSVなど社会と向き合い事業を進めることがより強く求められています。私たちは、企業がそれぞれの個性や強みを活かして社会と共生しながら成長し続け、責務の一環ではなく持続発展的経済活動と共存し得る社会貢献モデルを創造します。わが国において少子化と高齢化、人口減少問題は国力の先行きを左右する一因であり、危機意識はありながらも明確な解決策は未だ見出だせていません。少子化の原因はひと括りにできませんが、何よりも子を育てる環境が整っていないことは一つの大きな要因でしょう。ライフスタイルの変化に子育ての環境が追いついていないのです。子育て世代が中心を成す私たちこそ、現実を見つめて現場の声を拾い、行政にはできない民間主導の対策の担い手となるべきです。また、女性の感性は企業にとっても大きな力となり、高齢者の活躍は地域の活性化につながります。私たちは、これらを異なる問題として捉えるのではなくそれぞれの力を結びつけて解決策を探り地域と企業の手へと変えていきます。貿易立国と言われる日本ですが、輸出に

一般社団法人 大阪青年会議所 第 65 代理事長

別所 大作

Daisaku Bessho



よる利益の大半は大企業とその関連企業によるものであり、中小零細企業の積極的な海外取引は僅かしかありません。その最たる理由は機会の欠如であり、日本の将来を想像すれば、国境を越えて経済活動をしなないことは一つのリスクであり、規模の大小ではなく企業のコア・コンピタンスをもって世界を見据えて成長していくことが重要です。私たちは、シスター JC をはじめとする世界規模のネットワークを活かし、特に急成長するアジア各国と大阪の企業とのパイプを築く役割を果たすべきです。また、2015 年は JCI 世界会議金沢大会開催の年であり、縁深いまちへの支援はもちろん、世界に存在感を示す大阪への第一歩として、大阪の文化やビジネスを民間の手で世界に発信します。次世代を担う青年経済人である私たちは、企業活動を通じてウィークポイントをも強みに変えて社会と共存し、世界の動向に刮目し大阪人の感性を活かして次代を切り拓く風を起こし、感性価値を創造する都市大阪を実現します。

「感性価値を創造する人財が大阪を RE・DESIGN」

緒方洪庵の適塾から明治を切り拓いたリーダーたちが生まれ、戦前戦後も政官財を問わず日本を代表する人物を送り出し続けた大阪。私利私欲のためではなく地域を超えて国家を憂い、世界を見据えて活躍するリーダーがこの時代にも必要です。私たちは、この国の歴史と精神性に誇りを持ち、文化と言葉の違いを乗り越えて国際社会に果敢に飛び込み、心意気や相手を喜ばせる気質など大阪人特有の感性を武器に世界を駆けるフロンティアスピリットをもったリーダーを育成します。

初等教育の現状は、ゆとり教育による学力低下等の弊害への懸念から土曜日授業の復活や道徳教育の導入等、そのあり方が急速に変化しつつあります。自己を律する道徳観と社会生活を営む学力は不可欠ですが、本来ゆとり教育の導入は児童生徒が自ら考える力を育むように導く、個人の自主性を伸ばすことが目的でした。次代を担うリーダーには、未来に大きな夢を描き新しい価値を創造する力こそが求められます。多忙を極める教育の現場にすべてを押し付けるのではなく、地域のコミュニティと共に私たちの経験や仕事を活かして子どもたちの感性を磨き、官民一体となった教育を推進する役割を果たさなければなりません。また、学生の海外留学は 2000 年前後をピークに減少し、大阪の学生の留学率も低下の一方です。背景にあるのは少子化や経済環境だけではなく、より強まる内向き志向とも考えられます。物質的に豊かで世界

でも最も安全な環境で暮らしていれば、敢えて海外に目を向ける必要性を感じないのです。しかし現実的には、経済や政治あらゆる場面において自国の国益のみを追求することはもはや不可能であり、世界全体、地球規模の視点をもって物事を捉える力こそが求められています。人格形成期から世界の様々な人種や文化に触れることは語学を学ぶこと以上に国際感覚を養う機会となります。今後社会に出る若者が異なる国々の抱える事情や価値観を知り、人類共通の夢である世界平和の実現を共に模索することは、リーダーとしての資質を磨き、世界を牽引するリーダーが大阪から生まれる希望となります。私たちは、公へ尽くす義と日本独自の感性を兼ね備えた次代を切り拓くフロンティアスピリットあふれるリーダーを育成し、感性価値を創造する都市大阪を実現します。

1950 年の設立以来、豊かな大阪の実現のために活動し続けてきた大阪青年会議所。私たちは常に公に尽くす普遍の精神性とあらゆるものへの感謝の念を継承し、地球がバランスを保つため変化し続けるように、社会のニーズを感じ取り新たな価値を創造し続ける組織であり続けなければなりません。いつの時代も歴史の立役者は“アンサンブルヒーロー” 名もなき青年たちであり、各々が当事者として感じた未来への不安を志へと昇華させ、抱いた志がうねりとなって未来を切り拓いてきたのです。彼らを突き動かしたのは郷土や家族に対する愛、自然や大地と環境変化が醸し出す風を感じる力でした。私たちに息づく資産から生まれるこの独自の感性価値を次代につなげるこそが保守の精神であり、だからこそ次代に向けて変化を恐れてはなりません。

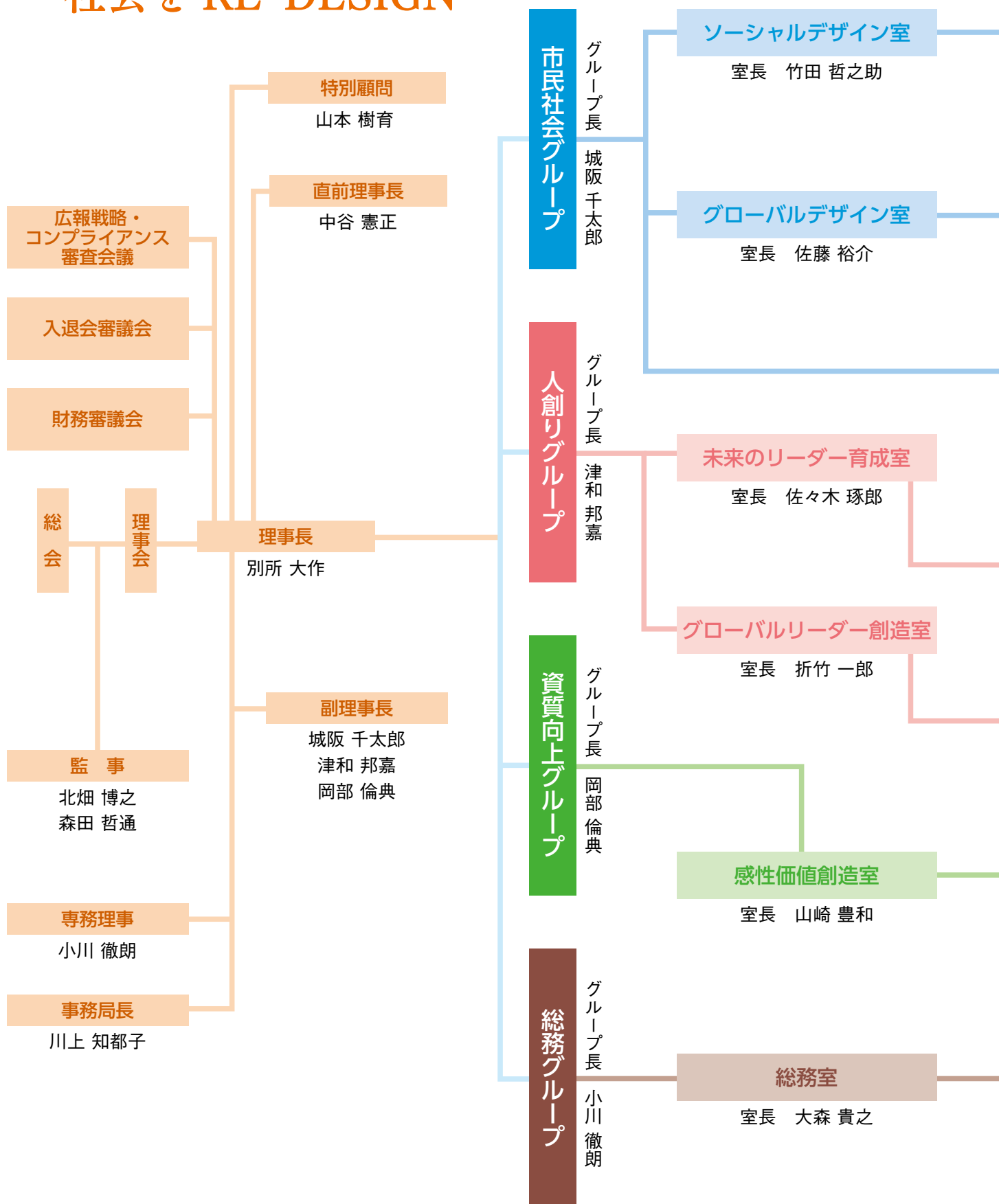
Be the change you want to see in the world Mahatma Gandhi

「見たいと願う世界を実現するためには自身が変化の先鞭とならなくてはならない」

創始の志がそうであったように、未来は私たちが創るのです。喜び、怒り、哀しみ、楽しみ、あらゆる感情を力に変えて五感を研ぎ澄まし、社会の風を感じ取り未来を創造する先鞭となる。The Eternal Values ～私たちが価値の根源であり続ける為に。

感性価値を創造する都市大阪の実現

～ 社会を RE・DESIGN ～



大阪の未来選択委員会 税所 貴一

1. 大阪の未来選択事業の企画と実施
2. 全体事業の準備と参画
3. 新入会員拡充
4. 理事選挙への参画

ソーシャルデザイン委員会 中島 丈裕

5. ソーシャルデザイン事業の企画と実施
6. 大阪 NPO センターとの連携
7. 全体事業の準備と参画
8. 新入会員拡充
9. 理事選挙への参画

社会の力創造委員会 平井 直哉

1. 社会の力創造事業の企画と実施
2. 全体事業の準備と参画
3. 新入会員拡充
4. 理事選挙への参画

グローバルデザイン委員会 田中 忠和

5. グローバルデザイン事業の企画と実施
6. 全体事業の準備と参画
7. 新入会員拡充
8. 理事選挙への参画

グローバルネットワーク確立委員会 宮本 高明

9. グローバルネットワーク確立事業の企画と実施
10. JCI 事業への参加促進
11. 世界会議金沢大会への支援
12. シスター JC との交流推進
13. 全体事業の準備と参画
14. 新入会員拡充
15. 理事選挙への参画

会員開発委員会 山本 健一郎

1. 新入会員拡充
2. 新入会員の指導・育成
3. 整肢学院児童レクリエーションの企画と実施
4. 全体事業の準備と参画
5. 理事選挙への参画

会員開発委員会 河野 尚樹

6. 新入会員拡充
7. 新入会員の指導・育成
8. なにわ淀川花火大会運営への協力
9. 全体事業の準備と参画
10. 理事選挙への参画

未来の力創造委員会 八木 弘晃

1. 未来の力創造事業の企画と実施
2. 全体事業の準備と参画
3. 新入会員拡充
4. 理事選挙への参画

未来のリーダー育成委員会 坂井 征司

5. 未来のリーダー育成事業の企画と実施
6. 全体事業の準備と参画
7. 新入会員拡充
8. 理事選挙への参画

チェンジメーカー創造委員会 小島 雅士

1. チェンジメーカー創造事業の企画と実施
2. 全体事業の準備と参画
3. 新入会員拡充
4. 理事選挙への参画

グローバルリーダー育成委員会 八田 善博

5. グローバルリーダー育成事業の企画と実施
6. 全体事業の準備と参画
7. 新入会員拡充
8. 理事選挙への参画

感性価値創造委員会 吉井 雅俊

1. 感性価値創造事業の企画と実施
2. 会員大会の企画と実施
3. 全体事業の準備と参画
4. 新入会員拡充
5. 理事選挙への参画

感性コミュニケーション確立委員会 森西 聖

6. 感性コミュニケーション確立事業の企画と実施
7. 新年名刺交換会の企画と実施
8. OB 現役交歓会の企画と実施
9. 65 周年事業の企画と実施
10. 全体事業の準備と参画
11. 新入会員拡充
12. 理事選挙への参画

渉外委員会 高橋 秀智

1. 日本 JC 事業への参加促進および支援
2. LOM 間交流の推進
3. JCI セミナーへの参加促進
4. 全体事業の準備と参画
5. 新入会員拡充
6. 理事選挙への参画

JCI 大阪発信委員会 後藤 晋司

7. 対外向け広報の実施
8. 会員向け広報の実施
9. 褒賞事業へのエントリー調整
10. 全体事業の準備と参画
11. 新入会員拡充
12. 理事選挙への参画

総務財政委員会 吉田 直人

13. 池田会議の企画と実施
14. 事務局機能の充実
15. 定款諸規則の整備
16. 総会運営の準備と調整
17. 理事会運営に関する準備と調整
18. 財務審議会運営に関する準備と調整
19. 委員長間の調整および連携
20. 緊急事業の企画と実施
21. 全体事業の準備と参画
22. 新入会員拡充
23. 理事選挙への参画



一般社団法人 大阪青年会議所
第 65 代理事長

別所 大作

Daisaku Bessho

1950 年の大阪青年会議所設立から、65 年目を迎える本年は「感性価値を創造する都市大阪の実現」を掲げ、一年間活動して参りました。戦後 70 年を迎える日本、戦後の復興から奇跡的な回復を遂げ、右肩上がりの経済成長を経て、バブルの崩壊から失われた 20 年という時代を終え、アベノミクスの効果から株価は 2 万円台に回復、円安の影響から大企業は最高益を上げるなど、前向きなニュースもありながらも、少子化による人口減少という未だ経験したことのない時代、また世界を見渡せば宗教の対立は、中東を発信源としたテロが世界中に広がりを見せ、解決の糸口さえ見いだせない難民の問題、行きすぎた経済偏重は資本主義のあり方そのものを問われる大きな時代の転換期を迎えております。

そのような時代だからこそ、私たちは現実を直視し変化を恐れず未来の世帯を思い、日本人が元来持ち合わせている目に見えない価値、感性をもって未来を切り拓く原動力として大阪の都市から、日本、世界を見据え活動して参りました。

5 月にはいわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票が実施され、当会議所も大阪市民の意識調査として 1 万人のアンケートを実施、結果を元に外部の有識者とともに都構想の中身をより分かりやすく、何より自らが未来に対して決断してもらうべく 10 万冊のハンドブックを製作し、大阪環状線各駅にて配布致しました。結果として 66.83% という投票率にて住民投票は実施されましたが、是非ではなく未来に対して市民の関心と責任を高めることに大いに寄与したと確信しております。しかしながら、この機運をしっかりと大阪の都市の発展へと繋げていくことこそが私たちの使命であると改めて気付かされ、青年経済人の団体として私たちの果たす役割を改めて見直す契機となりました。

また、本年は田坂広志先生を塾頭に迎え、大阪変革塾を開催致しました。地域から世界を変えるのは強いリーダーシップを持ったリーダーに他なりません。感性を磨き、見識を高めるために未来を担う青年に約半年間に渡り、様々なプログラムを実施致しました。最終プレゼンテーションまでに多数の講師陣、施設の方々に多大なるご協力を頂戴しましたことに心から感謝申し上げますとともに、卒業生の中か

ら大阪を牽引するリーダーが生まれることを祈念しております。

本年は未来を担う子ども達の感性を磨くことをテーマに継続事業である、わんぱく相撲、社会人講師派遣事業、そして海外の生徒を招待して規模を拡大したキッズアドベンチャー事業を開催、幼少期に体験した非日常の経験、達成感が将来の夢を描く大きな力になると、そのことを常に念頭に子どもに向けた事業を数多く開催致しました。同じく、PCY 事業では未来を担う学生の感性を、TOYP 事業では女性の感性に着目した事業を実施致しました。

また、友好 LOM である金沢青年会議所が主管する JCI 世界会議金沢大会において、大阪青年会議所から 500 人を超えるメンバーで参加、そして大阪の文化を発信する絶好の機会と捉え、大阪文化発信事業を金沢で実施いたしました。

その他、インバウンドをしっかりと成長に繋げる、成長するアジアとの強い結びつきこそがこれからの時代を支えるなど、現実に即したテーマをもって一つの事業ではなく横断的に 1 年間活動をして参りました。

同様に、本年は対内事業においてもしっかりとテーマを掲げ、月例会を実施、所信に基づいた講師の選定や、運営に関してもゼロベースで取捨選択し、より会員の知識と見識を高め、また強いネットワークを築く運営を心掛けました。結果として 250 名を超える新入会員を迎え、800 名を超える会員大会で一年を締め括ることができました。併せて当 LOM より山本樹育君を 2016 年度、第 65 代日本青年会議所会頭として輩出する機会を頂戴し、大阪から日本、世界へと大きく運動を発信する年ともなりました。

この素晴らしい都市を未来に送るために、大阪青年会議所が社会を RE・DESIGN、時代の大きな変革期だからこそ自分たちの根底を為す「感性価値」を大切にして大阪を、日本を、そして世界を牽引する、あらゆる価値の根源である青年が生まれる団体であり続けると期待して止みません。

結びに、本年一般社団法人大阪青年会議所の活動に多大なるご支援、ご協力を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。そして今後ともよろしくお願い申し上げます。



一般社団法人 大阪青年会議所
直前理事長

中谷 憲正

Norimasa Nakatani

戦後 70 年、大阪青年会議所設立 65 年目という節目の年。2015 年度は、「感性価値を創造する都市大阪の実現」をテーマに掲げ、別所理事長の卓越したリーダーシップのもと、1,111 名のメンバーが心一つに運動を推し進めてまいりました。

公益法人制度改革に伴い、2014 年度より一般社団法人としてスタートしてから早 2 年の月日が経とうとしています。法人格が変わろうとも、我々の活動の目的は「明るい豊かな社会の実現」のためであり、より良い大阪のまち、国、世界のためにあるのです。私たちは社会の信頼と付託に応えるべく、自己の成長と積極果敢な行動力で、公益意識を強く持ち、今後も成果に拘る運動を展開していかなくてはなりません。

本年度の活動で特筆すべきは、社会やまちのニーズをこれまで以上に的確に捉え、大阪のまちの課題や問題の解決だけに留まることなく、誇るべき大阪の魅力をインパクトのある手法を用いて広く発信できたことではないでしょうか。大阪はもとより、日本・世界中に拡がるだけでなく、次代へと力強く繋がっていく可能性を秘めた運動を展開できたことが、本年度の大きな成果であり、その起点の一年になったと確信しています。

組織内の様々な取り組みにおいても、守るべきことは守り、変えるべきことは大胆に変えた一年でありました。また、月例会や 65 周年記念事業、広報誌（Sencia）、HP 等を活用し、創始の志や、活動目的、本年度の運動の意義をしっかりと共有できたことで、一人ひとりが主人公であるという意識が高まり、組織の活性化に繋がったものと思われます。

今後、誰もが経験したことのない時代を生き抜いていくにあたり、大阪のまちの未来を創るのは青年の責務であるという熱い情熱と覚悟をもち、常に変化を恐れず、勇猛果敢に考え・行動いただくことを切に願っております。そして、2016 年度公益社団法人日本青年会議所の第 65 代会頭として、山本樹育君が役員出向致します。まさに大阪から日本を変えるその時がきました。新しい時代に向けて、大阪青年会議所メンバー一同、連帯感ある行動力で大阪を、日本を明るく元気にしてまいりましょう。

結びに、本年度、感性価値を創造する都市大阪の実現に向けて、ご支援ご協力をいただきました、行政・企業・関係諸団体・市民の皆様へ心より厚く感謝とお礼を申し上げますとともに、2016 年度も相変わりませずご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。一年間本当に有難うございました。



特別顧問

山本 樹育

Shigenari Yamamoto

「この人民にしてこの国家あるなり」という福沢諭吉の言葉がありますが、市民のレベルが上がれば政治のレベルも上がります。社会変革への参画は、意思決定への参加から始まります。

2015 年は、いわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票がありました。大阪青年会議所は、市民の方々に自らの見識と考えに基づいて意思決定を行ってもらおうと運動を展開してまいりました。その結果、多くの市民が自らの生活と直結する問題として、すなわち「自分ごと」として、当事者として決断を下しました。結果は僅差で反対が賛成を上回りましたが、結果に関わらずこれにより、このまちの民主主義のレベルは上がったと感じています。さらに、これを端緒として、まちの在り方に対して一段階上のレベルでさらなる議論を深めていかなければなりません。

また、1980 年から続く TOYP 事業や 2010 年から続く PCY 事業においては、日本の先進的な課題や世界の課題に対して、世界的な視点に立って、顔の見える関係を構築しながら解決策を導いていくことに

チャレンジしました。さらに、大阪の子供たちとアジアの子供たちが事業を通じて交流を深めるなど、民間レベルでの外交を推進することもできました。

官に頼らず官を支える大阪青年会議所として、守るべきものを守りながら、青年らしく新しい感性で様々なことに挑戦し、新しい価値を生み出しました。大阪のまちにその存在意義を確認できた一年でした。



副理事長

城阪 千太郎

Sentaro Shirosaka

本年は感性価値を創造する都市大阪の実現をめざし、市民社会グループのソーシャルデザイン室及びグローバルデザイン室、会員開発委員会を副理事長として担当させて頂きました。

本年度、会員開発委員会は二つの委員会を設置し、大阪の都市に常に新しい風を起こすリーダーを溢れさせるために、きめ細やかな会員拡充、入会後の指導・育成を行いました。また、会員拡充に関しては、252 名もの新たな仲間を迎え入れることができ、新たな仲間を加えた 1,111 名のメンバーと共に、大阪の都市に運動を発信することができました。また、指導・育成に関しても両委員会が特徴を活かし切磋琢磨し合いながら、自らが先頭に立って未来を切り拓くフロンティアスピリットをもったリーダーの育成に取り組んで参りました。今後も一人でも多くの方々に私たちの活動にご賛同頂き、明るい豊かな大阪を実現できる組織、人づくりに力を注いで参ります。

また、ソーシャルデザイン室では、世界を見据えアジアの中核都市としての存在感を発揮するために、大阪市民だけではなく

日本全体が注目をした、いわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票に際し、大阪市民の皆様から自らの見識に基づいて大阪の未来を決断して頂く一助となる運動を展開するとともに、日本の中でも課題が山積する大阪の現状を、未来に向けて積極果敢に立ち向かう力を持った主体者を創造する事ができました。

そして、グローバルデザイン室では、国際的な感覚と独自性を持って、世界における大阪の存在感を高めるために、TOYP 事業では、女性の感性に着目し、行政と連携し民間主導の企業と社会を結びつける運動や、世界に存在感を示す第一歩として、大阪の文化やビジネスを世界会議金沢大会にて世界各国の人びとに発信する運動、そして世界各国のシスター JC と更なる未来志向の関係を深める国際的ネットワークを確立する事ができました。

結びに、多くのご支援ご協力を頂きました関係各位に心より感謝、御礼申し上げますとともに、引き続き今後も変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。



副理事長

津和 邦嘉

Kuniyoshi Tsuwa

本年度は、感性価値を創造する都市大阪の実現をめざして、未来のリーダー育成室、未来の力創造委員会と未来のリーダー育成委員会、そして、グローバルリーダー創造室、チェンジメーカー創造委員会とグローバルリーダー育成委員会の人創りグループ2室4委員会の担当副理事長として1年間活動をさせて頂きました。

未来のリーダー育成室では、小学生を対象に本年で34回目を迎えるわんぱく相撲大阪市大会の開催や海外の子どもたちと寝食を共にして未来に大きな夢を想い描く礎となる事業を展開し、さらには、大人を対象に未来を託す子どもたちを地域全体で育む環境を創造する事業を展開しました。

グローバルリーダー室では、青年経済人を対象に田坂広志先生を塾頭としてお迎えし、大阪変革塾を開塾。半年を掛け事業を展開し、未来に向けての志を育みました。さらに、本年で6年目を迎えたPCY事業では、学生を対象にカンボジアミッションを含む、世界の学生たちと議論を交わす機会を通じ、世界に向かって挑戦していく意欲を高めました。

人創りグループでは、感性価値を創造する都市大阪の実現をめざすために、大人、青年経済人、学生、子ども、社会で構成される人びとを対象に、様々な切り口から事業を展開したことで、運動が拡がり人びとの意識が変化したと確信しております。

結びとなりますが、関係各所の皆様に多大なるご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。誠に有難うございました。



副理事長

岡部 倫典

Michinori Okabe

本年度は、感性価値を創造する都市大阪の実現を目指して、感性価値創造委員会と感性コミュニケーション確立委員会を副理事長として担当させて頂きました。

本年度は、2,700名を超えるOBと900余名を率いる2015年度の大阪青年会議所の幕開けでもある新年名刺交換会を盛大に開催することが出来ました。そして、1月の月例会に田坂広志先生をお招きし、「7つの知の力」について青年経済人として、あるべき姿を描き、社会に対する思いを新たにすることが出来ました。また、OB現役交歓会においては、OBと現役メンバーが交流する年2回の機会に青年会議所運動の方向性の確認と新たな息吹の風の発信を行いました。そして、家族会では、大阪の名所でもあります海遊館を舞台にメンバーの家族とともに、日頃の大阪青年会議所の活動の理解を深めて頂き、家族との絆も深める機会となりました。一年の締めくくりでもあります会員大会を開催し、2015年の活動を賞賛するアワードと現役としてのJC活動を終える卒業式を開催し、本年の活動を盛会に終えることが出来ました。最後に

なりますが、近畿地区の会務担当副会長として、地区内94LOMの運動発信の一助を担いました。道徳心を育むために、大学生を中心に創業100年以上の企業、小学生を対象に企業研修・仏閣寺院を活用した研修も行い、未来を創造する新たな感性が近畿地区内にも広がっていくことと確信しています。

本年度は、感性価値を創造する都市大阪の実現に向けて担当させて頂いた感性価値創造委員会と感性コミュニケーション確立委員会はもとより大阪青年会議所全体でより拡く運動を発信することで大阪のまちの感性価値を創造する先鞭となる一年となったと確信しております。この感性を次年度以降にも創造する為に引き続き活動して参りたいと思います。結びに多くの支援を頂きました関係各所の皆様に厚く御礼を申し上げます。



専務理事

小川 徹朗

Tetsuro Ogawa

2015年度は、別所理事長が掲げる「感性価値を創造する都市大阪の実現～社会をRE・DESIGN～五感を研ぎ澄まし未来を創造する！」をテーマに掲げ、1年間運動を展開して参りました。

本年度は、1950年の大阪青年会議所設立から65年目の節目となり、戦後70年目とも重なるこの年に、明るい豊かな大阪の実現のために、時代の先鞭となり、新たな価値を創造し続ける創始の志を引き継ぐべく、メンバー1,111名とともに、未来へ向けて私たち一人ひとりが価値の根源であり続けることが出来るよう、1年間運営をさせていただきました。

7月には、大阪青年会議所として16年ぶりとなる日本青年会議所会頭に、山本樹育君が会頭当選者となり、8月の65周年記念式典では、名古屋大学教授でノーベル物理学賞を受賞された、天野浩先生に基調講演をいただき、現役・OBあわせて約700名の参加があり、組織が一体感をもって記念すべき事象を共有させていただきました。また、金沢の地においてJCI世界会議が開催され、500名を超える圧倒的な数のメン

バーで参加し、大阪の魅力発信を現地で事業開催するなど、更なる友好関係を構築させていただきました。

財務面や運営面では、一般社団法人として2年目を迎え、会員名簿整備事業や事務局体制強化、組織の資産である会員拡充にも大いに取り組み、安定した組織の確立と財政基盤強化を図って参りました。

本年度我われの行ってきた運動が、2016年度以降の組織やまちに志が引き継がれ、大きく飛躍されることを祈念致します。

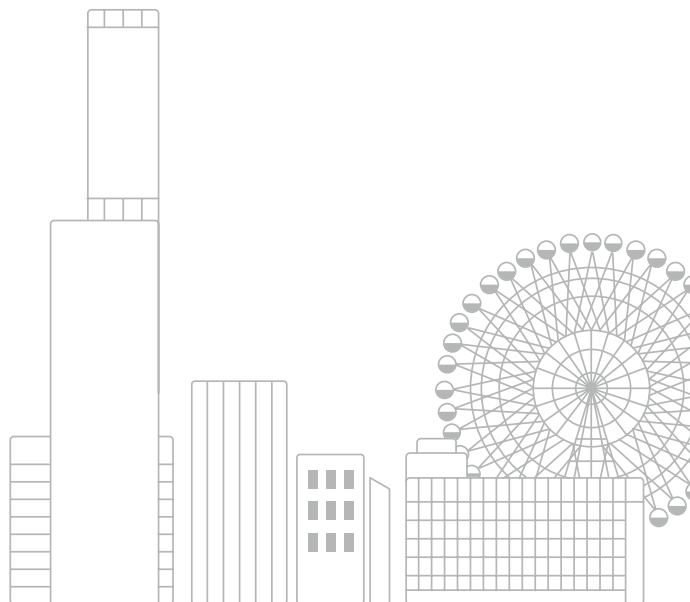
結びとなりましたが、2015年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に対して多大なるご理解とご支援を賜りました関係各位に対し、心より感謝申し上げますとともに、2016年度も本年度同様ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



監事

北畑 博之

Hiroyuki Kitahata





監事

森田 哲通

Takayuki Morita

2015 年度一般社団法人大阪青年会議所では、「感性価値を創造する都市大阪の実現～社会を RE・DESIGN ～五感を研ぎ澄まし未来を創造する！」をスローガンに掲げ、戦後 70 年、JC 運動発祥 100 周年、そして私たち大阪青年会議所設立 65 周年という節目を迎えた本年、私たちは過去から受け継いだ素晴らしい資産も負の遺産もすべてを潔く受け止めることからはじめ、別所理事長の力強いリーダーシップのもと「市民社会グループ」、「人創りグループ」、「資質向上グループ」、「総務グループ」と 4 つのグループを編成し協働することで大阪のまちへ運動を展開してまいりました。私は監事として、節目の年であるからこそ、決断を恐れず覚悟をもって変化する気概を携え、それらの展開される運動と実施する事業が、円滑かつ適正であり、公へ尽くす義と日本独自の感性を兼ね備えた効果の高いものであるかを一年間通して確認してまいりました。

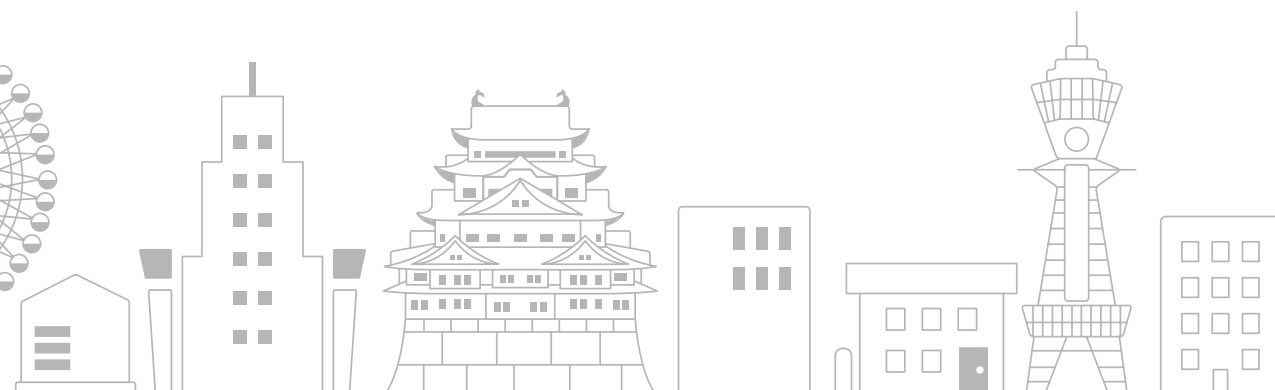
また、大阪青年会議所が時代の変化に対応し、常に新しい風を起こす発信源であるため、組織の基盤となる新たな人材にも多

数ご入会を頂き、1,111 名を誇る組織創りや役員、スタッフの育成にも注力をし、次代を見据えた組織創りを進めた事も確認してまいりました。

結びに、本年度、様々な運動展開や組織創りを進めることが出来たのも、ひとえに OB 諸兄の皆様、行政をはじめとする各種団体の皆様、そしてまちの皆様方のご協力があり実現できたものと考えております。

心より感謝御礼申し上げます。

そして、来年度以降も、より一層のご高配賜ります事をお願い申し上げます。



Our ch

2015年、
私たちは、大阪のまちに、
新しい風を起こせただろうかー。

感性価値を創造する都市大阪の実現
社会をRE・DESIGN

allenge



2015年度 JCI大阪の活動

2015 JCI Osaka Activities



8日 新年祈願祭



大阪天満宮

8日 新年名刺交換会



帝国ホテル大阪



22~25日 京都会議



京都市各所



3日 第2回異業種交流会



中之島フェスティバルタワー

5日 三代厄除け



大阪天満宮

16日 第3回異業種交流会



Loveセントラル中之島

17日 2月度公開月例会



帝国ホテル大阪

14日~4月2日 とどけ! 一万人の声アンケート



大阪市各所



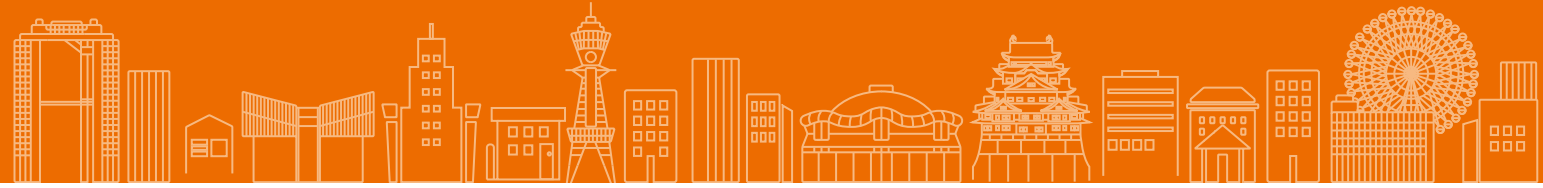
18日 3月度月例会・総会



帝国ホテル大阪



感性価値を創造する都市大阪の実現 社会をRE・DESIGN



11日 台北JC新年式典



台北市

14日 第1回事業説明会



大阪青年会議所事務局

17・18日 池田会議(1月度月例会)



池田不死王閣



26日 第1回異業種交流会



中之島フェスティバルタワー

30日 大阪ブロック 合同出陣式



ザ・リッツ・カールトン大阪



3日 第7回異業種お茶会



サウスパラダイスカフェ

6日 第5回事業説明会



中之島フェスティバルタワー

4・5日 入会式・新人セミナー



グランフロント大阪・勝尾寺





20日 4月度月例会



帝国ホテル大阪

22日 堺高石JC60周年記念式典



ホテル・アゴラリージェンシー堺

11日 北地域8LOM合同例会
(5月度月例会)



池田不死王閣

18日 JCIセミナー
(Visual Future)



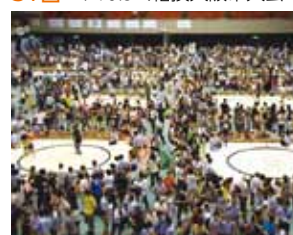
毎日インテシオ

28日 JCIセミナー
(Transactional Analysis)



毎日インテシオ

31日 わんぱく相撲大阪市大会



大阪府立体育会館

6日 大阪変革塾 入塾式



リーガロイヤルNCB



9日 JCIセミナー
(Vision Mission Value)



毎日インテシオ

11~14日
ASPACコタキナバル大会



コタキナバル(マレーシア)

21日 大阪変革塾 第2クール



グランフロント大阪

23日 6月度月例会



帝国ホテル大阪

23日 天満ジャック



天満市場

27日 社会人講師事業



大阪市立三軒家東小学校

11・12日 近畿地区大会 草津大会



草津市各所



13日 7月度月例会



帝国ホテル大阪

Annual Report

2015

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL OSAKA

27日 大阪環状線ジャック



大阪市各所



7日 わんぱく相撲オリエンテーション



大阪府立体育会館



5日 岡山大阪交歓会



新大阪ウェディングテラス



27日 整肢学院レクリエーション



大阪整肢学院／大阪市立豊崎小学校



16～19日 サマーコンファレンス2015



横浜市各所



25日 JCIセミナー
(Achieve Impact Admin)



大阪青年会議所事務局

26日 大阪変革塾 第3クール



グランフロント大阪

27日

なにわ淀川花火大会AED講習



港消防署

28～31日 グローバル・パートナーシップ・サミット



ニューヨーク



4日 OB現役交歓会(8月度月例会)



リーガロイヤルホテル大阪



8・9日 第27回なにわ淀川花火大会



淀川河川敷



21日 家族会



海遊館



22～24日 PCY2015海外ミッション



プノンペン(カンボジア)



30日 大阪変革塾 第4クール



グランフロント大阪



3～8日 TOYP2015



大阪・東京



24～27日 全国大会 東北八戸大会



八戸市各所





2日 Pre PCY2015



大阪青年会議所事務局

4日 65周年記念式典



リーガロイヤルホテル大阪



15日 ヴィクトリアJC65周年記念式典



香港

25～29日 PCY2015大阪ミッション



大阪市各所



30日 PCYフォーラム2015



大阪国際会議場



5日 TOYPフォーラム2015



大阪市中央公会堂



18日

9月度月例会・理事選挙本コーカス



帝国ホテル大阪

20日

大阪ブロック協議会 高槻大会



高槻現代劇場／桃園小学校



2日

大阪変革塾 公開プレゼンテーション



グランフロント大阪

6日
キッズアドベンチャー2015
オリエンテーション



大阪市立こども文化センター

10～12日 キッズアドベンチャー2015



大阪市各所



17日 JCIセミナー (Presenter)



大阪青年会議所事務局

18日 大阪変革塾 卒塾式



グランフロント大阪



16日 11月度月例会



帝国ホテル大阪



4日 社会人講師事業



大阪市立大宮小学校



Annual Report

2015

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL OSAKA



16日 10月度月例会・総会



帝国ホテル大阪

21日

JCIセミナー(ロバート議事法)



21日 毎日インテシオ



3～8日 JCI世界会議 金沢大会



金沢市各所



14日 来て観て大阪FESTA



西梅田スクエア



5日 社会人講師事業



大阪市立清水小学校



8日 会員大会・卒業式



リーガロイヤルホテル大阪



01

Citizens' Society
Group

市民社会 グループ



Social Design Office

ソーシャルデザイン室

Tetsunosuke
Takeda



室長

竹田 哲之助

本年度は、感性価値を創造する都市大阪の実現のために、ソーシャルデザイン室では、「民の感性で都市の未来をデザイン！」をテーマに、道州制の導入や都構想など大きな転機を迎えている大阪において、世界を見据えた新しい都市づくりを進め存在感のある大阪の実現が必要であると考えました。そのために、都市の未来に対し今を生きる当事者として責任を自覚し、グローバル化する世の中を俯瞰的に捉え、目に見えないものから発せられる声に耳を傾け、自らの見識と意志を持って決断し、世界へ向けて新しい風を起こし続ける都市の決断力と、創造力という二つの感性を呼び覚ますことを目的に運動を展開して参りました。

大阪の未来選択委員会では、4月の大阪市議会議員選挙、5月にはいわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票が実施され、その結果を受けて11月には大阪市長選挙が実施されました。これを好機と捉え、表面的な情報だけではなく、目に見えない本質から決断という一歩を踏み出してもらうため、住民投票の際には1万人の声アンケートを実施し、その結果に基づき作成した冊子を大阪環状線ジャックと題し10万部を配布させて頂きました。この事業は大きくメディアにも取り上げられ、大阪の未来を選択する機運は今までになく高まり、自らの見識に基づいて決断し、気概を持って行動する人びとを増やすことができたかと確信しております。

ソーシャルデザイン委員会では、外国人観光客が飛躍的に増えていることを好機と捉え、そのために発生している課題を人びとの創造力で解決することでプラスに転換し、アジアの中核都市として存在感を発揮する大阪を実現するために、行政、企業、団体の方々と連携し「来て観て大阪 FESTA」を開催しました。大阪の都市の現状や、インバウンドがもたらす経済効果や、発生している課題に対する取り組みなどを知ってもらいました。また、コンテストでは学生、NPO 団体の方々に新しい都市づくりに必要なアクションプランを発表して頂き、人びとに理想とする都市の姿を考えて頂きました。当日は、多くの人びとにご参加を頂いたことから共に事業を構築した主体者の意識を変革し、積極果敢に地域の課題に立ち向かう人びとを創出できたと確信しております。

いつの時代も都市の未来を切り拓いてきたのは民の力。この大きな転換期を迎えている今だからこそ、決断力と創造力という二つの民の感性で新しい風を起こし続ける必要があると考えます。

所属委員会

大阪の未来選択委員会

ソーシャルデザイン委員会

室テーマ

民の感性で都市の未来をデザイン！

大阪の未来選択委員会

基本方針

主体者として気概を持って行動する人びとを増やしていきます。

事業計画

私たちは、先人から受け継いだ民意主導の都市に生きていることに誇りを持ち、より良い未来へと自らの力で切り拓いていく責任を自覚し、物事の本質を捉える力を携え、自らの見識に基づいて決断し、主体者として気概を持って行動する人びとを増やしていきます。

事業報告

1. 大阪の未来選択事業（5月17日住民投票）

事業の内容	大阪市議員選挙、いわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票に際し、大阪の未来に対し、自らの見識に基づいて決断し、主体者としての気概を持って行動する人びとを増やしていく事業。
実施日時	3月14日(土)～5月16日(土)
場所・会場	<p>■街頭アンケート実施場所 大阪市内8か所(都構想特別区5区)／グランフロント大阪北館東側交差点(大阪市北区大深町4-1)・阪急百貨店西側(大阪市北区角田8-7)・大阪中央郵便局(大阪市北区梅田3-2-4)・なんば高島屋前広場(大阪市中央区難波5-1-6)・心斎橋新橋交差点付近(大阪市中央区南船場4-4)・鯨屋萬助・阿倍野歩道橋(近鉄百貨店ハルカス前)(大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目地内)・京阪京橋駅南側(大阪市都島区片町2-5)・JR環状線大正駅前(大阪市大正区三軒家1-8)</p> <p>■冊子配布場所 ①街頭配布(5月14日、15日、16日)大阪市内7か所(都構想特別区5区)／阪急百貨店西側(大阪市北区角田8-7)・大阪中央郵便局南東角(大阪市北区梅田3-2-4)・なんば高島屋前広場(大阪市中央区難波5-1-6)・京阪京橋駅南側(大阪市都島区片町2-5)・鯨屋萬助・阿倍野歩道橋(近鉄百貨店ハルカス前)(大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目地内)・京阪京橋駅南側(大阪市都島区片町2-5)・JR環状線大正駅前(大阪市大正区三軒家1-8) ②大阪環状線ジャック(4月27日、5月13日)JR環状線全19駅38か所 ※5月13日は難波駅、心斎橋駅も追加し、実施。③スーパー玉出での配布 スーパー玉出大阪市内各店舗(33店舗)にて配布 ④フランス屋での設置 大阪市内のフランス屋 大阪市内路面店(10店舗)にて設置</p>
参加人数報告	<p>計画：110,000人 結果：106,489人 (内訳) 1. 街頭アンケート：10,400人 (内訳) ①街頭アンケートによる回収 2,545人 ②JCI大阪メンバーによる回収 7,855人 2. 冊子配布：96,089人 (内訳) ①大阪環状線ジャックでの配布 25,855人 ②大阪環状線ジャックプラスでの配布 15,875人 ③街頭配布 12,955人 ④企業配布 25,954人 (スーパー玉出 14,670人、フランス屋 1,819人、その他 9,465人) ⑤政党(大阪維新の会、自由民主党、公明党、共産党)への配布 1,000人 ⑥大学での配布 2,046人 ⑦JCI大阪OBメンバーへの配布 2,504人 ⑧憲法タウンミーティング参加者への配布 900人 ⑨JCI大阪メンバーによる配布 9,000人</p>
実施方法の工夫	大阪市民10,000人にアンケートを実施する参加者数にインパクトを持たせた1万人の声アンケートや、大阪環状線的全駅で一斉に冊子を配布する大阪環状線ジャックなど、数・ネーミング・内容にインパクトを持たせました。
事業目的に達した点	大阪の課題や都市の未来について考える機会を提供することで、市民に一票の重みに気づいてもらい、大阪の未来について考える機運を高めることができ、自らの見識に基づき決断し、主体者としての気概を持って行動する人びとを増やすことができたと考えます。
事業目的に達しなかった点	インターネットやSNSの広告を含めた広報告知方法の検討不足により、動画再生回数やFacebookの拡散について、目標数に達することが出来ませんでした。広告も含めた告知方法の検討が必要です。



2. 大阪の未来選択事業（11月22日大阪市長選挙）

事業の内容	大阪市長選挙に際し、大阪の未来に対し、自らの見識に基づいて決断し、主体者としての気概を持って行動する人びとを増やしていく事業。
実施日時	11月5日(木)～21日(土)
場所・会場	－
参加人数報告	－
実施方法の工夫	行政や各種団体、日本JCとの連携をしっかりと保ち、進めてまいりました。
事業目的に達した点	前回のアンケートをふまえながら、大阪市民が知りたい項目に関して、全ての立候補者の政策と主張を市民に届け、自らの見識に基づき決断し、主体者としての気概を持って行動する人びとを増やすことができたと考えます。
事業目的に達しなかった点	公職選挙法の縛りの中で、インターネットやSNSでの告知を進めることが出来ず、動画再生回数の目標数に達することが出来ませんでした。公職選挙法にのっとった新たな広報手法の検討が必要です。





私たち大阪の未来選択委員会は、先人から受け継いだ民意主導の都市に生きていることに誇りを持ち、より良い未来へと自らの力で切り拓いていく責任を自覚し、物事の本質を捉える力を携え、自らの見識に基づいて決断し、主体者として気概を持って行動する人びとを増やしていくことを目的として、活動を行ってまいりました。

大阪は4月に大阪府議会議員選挙、11月に大阪市長選挙が実施され、また5月にはいわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票が実施され、大きな未来の選択を迫られている状況でありました。

また、5月17日に実施されましたいわゆる「大阪都構想」の是非を問う住民投票に関して、大阪市民がそれぞれの主張を比較でき、判断材料となるような仕組みが必要であると考えました。

1万人の声アンケートと題し、住民投票に関する市民の理解度や、推進派・反対派の主張についての意識調査、そして大阪市民が一番聞きたい項目などをアンケートさせて頂き、1万人を超える市民にご回答頂きました。

そしてそのアンケートに基づき作成した冊子の配布に関しても、各企業との連携により、大阪市内の店舗などで設置して頂くなど、約10万人の人びとの手に届けることが出来ました。

特に、大阪環状線ジャックと題しまして、告示日である4月27日、5月13日に大阪環状線の全駅にて大阪青年会議所メンバーで一斉に配布するイベントも実施し、11社のメディアに報道して頂き、大きなインパクトを与えることが出来ました。

大阪の課題や都市の未来について考える機会を提供することで、市民に一票の重みに気づいてもらい、大阪の未来について考える機運を高めることができ、自らの見識に基づき決断し、主体者としての気概を持って行動する人びとを増やすことができたと考えます。

最後になりますが、ご協力いただきました行政、各種団体のみなさまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

Takakazu
Saisyo



委員長
税所 貴一

スタッフ

幹事	副委員長	委員	内田 哲	奥 朋也	阪野 瑞穂	磨谷 慎太郎	畢 志鵬	南本 庸介	四十宮 麻美
猪俣 洋聖	北山 以珠美	赤田 純也	内田 昂	小倉 健宏	塩津 立人	恵山 幸由	比嘉 里衣子	宮城 裕美	依藤 哲也
川嶋 幸一	小嶋 康太	伊藤 美恵	宇野 裕明	柿本 陽子	杉浦 由薫	永井 亜樹	細川 直人	森下 修二	和田 昌子
垣元 直之	文岩 龍郎	岩芝 公治	大竹 基之	久保 雅史	高岸 佳弘	中橋 秀次	細川 祐介	山口 恭伸	
松田 佳名	松下 昌史	上野 晃一	岡本 幸宏	小林 泉	田村 誠	中村 周造	堀北 晶子	山本 雅史	
	山本 浩二	氏田 裕吉	小川 健一	齊藤 誠一郎	寺澤 圭志	半田 貴子	松田 憲嗣	吉田 健太郎	

▶ ソーシャルデザイン委員会

基本方針

積極果敢に地域社会の課題に立ち向かう力を持った人びとを創出していきます。

事業計画

私たちは、自身を取り巻く多くの問題を受け止め、理想とする都市の姿を明確に想い描き、様々な場所で活躍している人びとの想いを汲み取り、新たな価値を生み出す有益な関係を有し、積極果敢に地域社会の課題に立ち向かう力を持った人びとを創出していきます。

事業報告

1. ソーシャルデザイン事業

事業の内容	アジアに存在感ある都市を目指すためには、地域社会の課題に立ち向かう力を持った人びとが必要です。急増するインパウンドがもたらしている新たな軋轢に立ち向かうことで、今後も起こり得る地域社会の課題に対し、行政、企業、団体が中心となって連携し、積極果敢に立ち向かっていく力を持った人びとを創出します。
実施日時	11月14日(土)
場所・会場	西梅田スクエア(旧中央郵便局跡地)
参加人数報告	計画：一般参加者：3,000人 協力主体者：100人 学生：50人 JCI大阪メンバー：162人 合計：3,312人 結果：一般参加者：3,179人 協力主体者：87人 学生：4人 JCI大阪メンバー：193人 合計：3,463人
実施方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪駅から会場までの街頭デジタルビジョン広告を実施、それに合わせてチラシ配布、SNSを用いた広報を行いました。また、当日は会場の入り口に大型バルーン、周りにはのぼりを配置し多くの方に来場頂けるよう工夫しました。 ■専門家によるトークセッションでは、一般の方々にも楽しく聞いて頂けるよう司会者、サブ司会者にも一般目線で参加頂きました。 ■ステージでは、オープニングと途中で2組の地元アイドルグループに参加頂き、会場を盛り上げて頂きました。また、知名度の高い芸能人を一日を通しての司会者としたことで、より多くの参加者に話を聞いてもらえました。 ■アクションプランコンテストでは、大阪市長賞、観光局長賞、審査委員特別賞、大阪青年会議所賞を設け、参加者の意欲向上と今後における活動する意識を高めてもらいました。 ■企業だけでなく、飲食店の方々にもご協力頂き、大阪らしい飲食物を飲食ブースで提供頂きました。
事業目的に達した点	プログラム全体を通して、自身を取り巻く多くの問題を受け止め、理想とする都市の姿を明確に想い描き、様々な場所で活躍している人びとの想いを汲み取り、新たな価値を生み出す有益な関係を有し、積極果敢に地域社会の課題に立ち向かう力を持った人びとを創出することができました。
事業目的に達しなかった点	特になし







スタッフ

幹事	副委員長	委員	岡田 郁美	白石 達也	中川 利治	西岡 雅人	福川 聡志	光本 圭佑
一花 裕一	岡本 仁志	有川 陽介	小田 研史	杉立 慎太郎	長崎 忠雄	西田 伸祐	本田 泰河	宮秋 賢三
江川 晶士	叶 裕一	有光 克敏	岸 磨沙美	竹島 幸志	長島 広明	西谷 香世	本田 祐輔	山崎 克将
徳田 正和	木村 友昭	石橋 達也	北野 雄一郎	樽谷 隆弘	中野 功夫	西原 宏樹	前田 泰宏	山崎 新平
山本 哲史	中島 洋行	内田 洋介	北本 武	且過 ちあき	中村 佳織	東野 真代	松山 奈央	米倉 健太
	溝畑 泰生	大西 浩平	木下 孝祐	津村 豊光	西尾 淳	平松 澄子	丸山 浩介	和田 諭子

私たち、ソーシャルデザイン委員会は、世界を見据えた新しい都市づくりを進めアジアの中核都市としての存在感を発揮するために積極果敢に地域社会の課題に立ち向かう力を持った人びとを創出するべく活動しました。外国人観光客が大阪を多く訪れていることをチャンスと捉え、その一方で生じる課題を解決し、外国人観光客がもたらす経済効果を一過性にせず継続するために、行政、企業、団体の方々と一緒に「来て観て大阪 FESTA」を開催しました。

オープニングアクトやトークセッションでは、大阪の都市の現状を知って頂き、インバウンドによる経済的な発展の中で多くの人びとが活躍されていること、その一方で、急速な変化から生じる新しい課題に対する様々な取り組みを知って頂きました。

アクションプランコンテストでは、学生、NPO 団体の方々に自らが考える新しい取り組みを発表して頂き、人びとに理想とする都市の姿を思い描いて頂きました。

企業ブースでは、参加した行政、企業、団体が知り合い、クロージングセレモニーでは、自らが都市の主体者として行動する意識を高めてもらいました。当日は、多くの一般市民にもご参加頂いたことから一般市民を通じてより主体者の意識を高めることができました。

1日の事業を通して、積極果敢に地域社会の課題に立ち向かう力を持った人びとが創出出来たと確信しております。最後にこの場を借りて、ご協力賜りました多くの皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

Tomohiro Nakajima



委員長
中島 丈裕

Global Design Office

グローバルデザイン室

Yusuke
Sato



室長

佐藤 裕介

本年度、私たちグローバルデザイン室では、急速なグローバル化や東京への一極集中が進む中、日本の国内だけでなく世界から注目される大阪を創造するべく、世界の流れを敏感に感じとり、過去から受け継がれてきた大阪の強みを再認識し、大阪のまちに誇りを抱き、これまでまちに埋もれてきた資産を新たな力へと変化させ、自らが先頭に立って世界に向かって行動する人びとを一人でも多く創造するために運動を展開してまいりました。

社会の力創造委員会では、「女性の活躍」にフォーカスをあて、女性の社会進出を阻んでいる原因を追究し、どうすれば女性が活躍できる社会を創造できるのかをTOYPフォーラムにてまちの人びとに考える機会を提供し、女性が活躍する社会に向けて一歩踏み出す気概をまちの人びとに抱いてもらうための事業を実施しました。

また、グローバルデザイン委員会では、JCI 世界会議が開催される金沢の地にて、自らが持つ独自性や優位性に気付いてもらい、大阪の魅力を発信する「OSAKA おおきにFESTA」を開催し、大阪から世界へ挑戦しようとする気概を持った人びとの創造に向けて事業を実施しました。

そして、グローバルネットワーク確立委員会では、大阪青年会議所がこれまでに培ってきた海外シスター JC と各種大会で交流イベントを開催し、大阪青年会議所メンバーに世界と触れあう機会を通じて、「JCI 大阪」というブランドがもつ無限の可能性に気づき、大阪の魅力を世界に発信する気概を湧き立たせる事業を実施しました。

人の意識を変える事、まちを変える事はそう簡単には実現できませんが、当室では世界から注目される大阪の実現に向けて、委員会ごとにテーマを設け、それぞれの事業を実施させて頂いたことで、感性価値を創造する都市大阪の実現に向けて第一歩を踏み出せたかと思います。

最後にご協力頂きました各種団体、そして市民の皆様は心より感謝申し上げます。

所属委員会

社会の力創造委員会

グローバルデザイン委員会

グローバルネットワーク確立委員会

室テーマ

感性溢れるまち大阪の実現！

▶ 社会の力創造委員会

基本方針

世界に通用する新たな活力を創造する人びとを創出します。

事業計画

私たちは、多様化する社会のあり様を俯瞰的に捉え、個々の可能性が生み出す価値を認識し、それぞれの力が最大限に発揮される理想の社会を思い描き、異なる価値観を持つ人びとと有益な関係を築き上げ、世界に通用する新たな活力を創造する人びとを創出します。

事業報告

1. 社会の力創造事業

事業の内容	TOYPフォーラム～女性と共に進化する企業へ～の開催
実施日時	9月5日(土)
場所・会場	大阪市中央公会堂
参加人数報告	計画：1,000人 結果：350人
実施方法の工夫	今年度は、より具体的に都市の課題に着目し、テーマ及び運動の対象者を設定致しました。経済的不安を抱える大阪に対し、新たな可能性と成り得る「社会の力」を提案致しました。すでに社会を牽引する主体者や、都市の経営者を巻き込み、よりリアルな都市の現状と、未来への道筋を理解しやすい様工夫しました。
事業目的に達した点	フォーラムアンケートの結果より、都市の現状や新たな可能性を認識し、新たな感性を持って大阪の存在感を発揮していく意識が高まりました。
事業目的に達しなかった点	目標としていた動員計画に大きく及ばず、より多くの人びとに運動を展開することが出来ませんでした。





スタッフ

幹事	副委員長	委員	岩本 勝浩	小淵 隆大	玉井 幸介	橋本 有司	北條 恵美	森 一平
谷 吉哉	大村 雅祥	浅井 太一	上田 智史	佐川 宏治	中島 聖智	長谷川 陽介	堀 志帆	門司 秀晃
松下 淳一	朴 憲久	安部 穰之	浦本 佳則	竹上 新治	中島 慶人	林本 大	松川 浩士	山本 毅
森高 悠太	本元 宏和	市山 慎一	岸本 淑邦	田中 寛樹	中村 圭佑	廣木 学	松田 大治	山佳 誠秀
森永 雄介	保井 美紀	伊藤 良夏	工藤 恵太郎	田中 良龍	西井 重超	福西 咲也子	宮沢 孝児	吉村 久
	安渡 慶	入船 宜子	小坂 梨緑菜	田淵 慎哉	西村 穰	古山 久幸	村上 亮介	淀 洋和



私たちは、感性価値を創造する都市大阪の実現に向けて、多様化する社会のあり様を俯瞰的に捉え、個々の可能性が生み出す価値を認識し、それぞれの力が最大限に発揮される理想の社会を想い描き、異なる価値観を持つ人びとと有益な関係を築き上げ、世界に通用する新たな活力を創造する人びとを創出することを目的に活動して参りました。

大阪の経済環境を鑑みれば、決して安穏とした状況にないことは明白であり、在阪企業約20万の内99%を占める中小企業では、特にその傾向が如実に表れています。この状況を打開するひとつとして女性の更なる社会進出が必要であるが、女性が活躍できる舞台はあまりにも少なく、その主要因としては変化し続けるライフスタイルに子どもを育てる環境が追いついていないことだと考えました。

今年度開催したTOYPフォーラムでは、すでに女性が持つ新たな可能性を見出し活躍する在阪企業経営者のトークセッションや、佐々木かをり氏のご講演を通じて、より大阪の都市に即した活動に触れて頂きました。また、先進的な国々で女性の感性を活かして活動している傑出したリーダーに、私たちが目指すべき理想の社会を感じ取ることでご講演を頂きました。結果、一日のフォーラムを通じて、理想の未来を思い描き、新たな活力を創造する意欲が高まったと確信致しました。

最後になりますが、私たちの事業へご参画ご協力頂きましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

Naoya
Hirai



委員長
平井 直哉

▶ グローバルデザイン委員会

基本方針

広い世界に向かって積極果敢に挑戦し続ける人びとを増やしていきます。

事業計画

私たちは、急速に変化する世界の流れを的確に捉え、過去から継承してきた大阪人独自の精神性に誇りを持ち、技術や経験が生み出す新たな可能性を活かし、自らの未来を切り拓く気概を携え、広い世界に向かって積極果敢に挑戦し続ける人びとを増やしていきます。

事業報告

1. グローバルデザイン事業

事業の内容	世界会議金沢大会において、大阪が誇る企業文化・食文化を全世界の人びとへ発信し、大阪の青年経済人が自らの魅力を武器に世界へ挑戦する気概を高める事業。
実施日時	11月7日(土)～8日(日)
場所・会場	近江町市場・横安江町商店街（石川県金沢市）
参加人数報告	計画：40,060人（内訳）大阪に住み暮らす青年経済人60人 海外JCIメンバー3,000人 国内JCIメンバー7,000人 一般参加者（金沢市民・県外観光客）30,000人 計40,060人 結果：15,071人（内訳）大阪に住み暮らす青年経済人60人 海外JCIメンバー、国内JCIメンバー、一般参加者（金沢市民・県外観光客）横安江町商店街1,707人 近江町市場（10:00～20:00はステージのみ）13,304人 計15,071人
実施方法の工夫	より多くの方にご参加いただくために、JCIメンバーにはランチョンチケットの対象店舗への加盟、登録キット全てに事業のチラシを封入いただくなどの取り組みをしました。また、金沢JCの協力のもとラジオ、テレビなどの媒体にてPRさせていただきました。
事業目的に達した点	アンケートおよび出店者の声を通じて、グローバルな感覚を持つ必要性を感じている方、大阪の精神性に誇りを持つ方、新しいことにチャレンジしたいという意欲がある方が多いことが分かりました。また、事業を通じて、その意欲が高まりました。
事業目的に達しなかった点	事前告知の不足により、目標の参加人数に達することができませんでした。より早期の告知が必要です。







私たちグローバルデザイン委員会は、急速に変化する世界の流れを的確に捉え、過去から継承してきた大阪人独自の精神性に誇りを持ち、技術や経験が生み出す新たな可能性を活かし、自らの未来を切り拓く気概を携え、広い世界に向かって積極果敢に挑戦し続ける人びとを増やしていくことを目的として、活動を行ってまいりました。

今後、大阪がアジアの中核都市として世界における存在感を高めていくためには、中小企業の活況が必要不可欠であり、そのためには大阪の企業が世界に触れる機会を増やしていくことが必要であると考えました。

「OSAKA おおきに FESTA」と題したグローバルデザイン事業を世界会議金沢大会開催に合わせて近江町市場・横安江町商店街で開催し、そのなかで大阪が誇る企業文化や食文化、さらにお笑いなどの文化を全世界のJCIメンバー、金沢市民の皆様が発信しました。

今回の事業を通じて、ご来場いただいた方々には大阪の素晴らしい伝統や文化、誇るべき精神性を大いに感じていただけました。また、出店いただいた大阪の企業や店舗の皆様には異なる価値観に触れる事により、大阪人ならではの精神性や自らの持つ技術の素晴らしさや可能性を実感いただき、新しいことに挑戦する意欲が高まったと考えます。

最後になりますが、本年度一年間、ご協力いただきました行政、各種団体、企業の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

Tadakazu
Tanaka



委員長
田中 忠和

スタッフ

幹事	副委員長	委員	戎 健太郎	木元 香織	壽谷 将隆	徳矢 卓洋	畑 友洋	三好 雅彦	山田 英範
青木 紘史	梅田 祐介	赤坂 将太郎	大浦 徹	後藤 光代	高橋 華奈子	行方 正樹	秦 龍蔵	森田 陽子	山野 謙介
石井 孝昌	川瀬 裕介	新井 庸能	太田 真矢	坂 幸樹	田口 敦	西川 智之	林 晃輝	森光 大輔	和多田 泰久
本岡 佳小里	菊地 正吾	今村 昭悟	奥田 知之	重松 知宏	竹内 一真	西口 司朗	林 裕満	安井 将祐	渡辺 俊一
山崎 朋子	多田 雄一	岩瀬 史明	川間 亮佑	下田 大輔	竹下 達也	西出 誉	林田 岳広	矢吹 保博	
	吉山 晋市	上村 千代	神崎 裕子	白井 輝良	常喜 毅	能村 祐己	久留 篤	山岡 慎二	

▶ グローバルネットワーク確立委員会

基本方針

豊かな感性で大阪の価値を世界中に発信する
有益な国際的ネットワークを確立します。

事業計画

私たちは、急速に変化する世界の流れを俯瞰的な視野で捉え、価値観の違いを互いに理解し、世界に誇るべき大阪の文化と精神性を再認識し、培ってきたつながりをより強固にし、豊かな感性で大阪の価値を世界中に発信する有益な国際的ネットワークを確立します。

事業報告

1. シスターJCとの交流推進

事業の内容	シスターJCと会員同士の相互理解、友情を深めることで、世界の有機的なつながりを知るための入門事業を実施しました。
実施日時	3月15日(日)
場所・会場	大阪市内
参加人数報告	計画：30人 結果：42人
実施方法の工夫	JCI大阪が特に友好を深めているJCI台北メンバーとの交流で、コミュニケーションの難易度を下げ、メンバーの参加に対する心理的障壁を取り除きました。
事業目的に達した点	JCI台北との交流を持つことで、LOM間のつながりをより強固にすることができました。
事業目的に達しなかった点	各委員会へのPRが不十分で、参加者に偏りができました。

2. ASPAC コタキナバル大会

事業の内容	JCI大阪メンバーを対象に、国際青年会議所（JCI）が開催するエリア会議において、JCIの運動方針を理解し、アジア太平洋地域での相互理解や国際交流を通じてJCIメンバーとの有機的なネットワークを拡大するための参加促進。
実施日時	6月11日(木)～14日(日)
場所・会場	コタキナバル（マレーシア）
参加人数報告	計画：150人 結果：122人
実施方法の工夫	JCI大阪メンバーに向けて月例会、各委員会にて参加促進を行いました。
事業目的に達した点	日本から9時間と遠方にもかかわらず、多数のメンバーに参加いただくことができました。
事業目的に達しなかった点	特になし





3. 世界会議 金沢大会

事業の内容	JCI大阪メンバーを対象に、国際青年会議所（JCI）が開催するエリア会議において、JCIの運動方針を理解し、全世界での相互理解や国際交流を通じてJCIメンバーとの有機的なネットワークを拡大するための参加促進。
実施日時	11月3日(火)～8日(日)
場所・会場	石川県金沢市内
参加人数報告	計画：500人 結果：500人
実施方法の工夫	JCI大阪メンバーに向けて月例会、各委員会にて参加促進を行いました。
事業目的に達した点	日本開催、また金沢JCのスポンサーLOMとして、より多くのメンバーに参加いただくことができました。
事業目的に達しなかった点	予定を上回る参加希望があったため、交通手段や宿泊手配に混乱を生じました。

私たちは、感性価値を創造する都市大阪の実現に向けて、シスター JC をはじめ海外の JCI メンバーとの有益な国際的ネットワークを確立する運動を展開してまいりました。

まずは、世界中の国や地域との有機的な関係性を様々な視点から学ぶために、導入の段階として3月には台北 JC との交流事業を行いました。

次に6月に開催されました ASPAC コタキナバル大会では台北、ビクトリア、ウランバートル、プノンペンのシスター JC との交流事業としてプールサイドパーティーを開催し、大阪と海外の文化交流をすることで互いの価値観の違いを理解する機会となりました。

さらに、世界会議金沢大会へ例年以上の参加促進を行い、500名を超える JCI 大阪メンバーに参加していただき、有益な国際的ネットワークの価値を体感していただきました。

また交流事業として世界会議金沢大会では金沢城内の二の丸広場と歴史的建造物である五十間長屋を使いサンセットパーティーを実施し、世界各国の JCI メンバーとの交流の中で大阪の価値を世界中に発信するとともに、豊かな感性を創造し、JCI 大阪のブランドを高め、大阪の可能性を広げることができました。

このようにして、私たちは、変化する世界の流れを俯瞰的視野で捉え、価値観の違いを互いに理解し、大阪の文化と精神性を認識し、つながりをより強固にし、豊かな感性で大阪の価値を世界に発信する有益な国際的ネットワークを確立し、感性価値を創造する都市大阪を実現しました。

最後に、有益な国際的ネットワーク確立のためにご支援いただいた各国 JCI メンバーをはじめとする皆様に心より御礼申し上げます。

Takaaki
Miyamoto



委員長
宮本 高明



4. グローバルネットワーク確立事業

事業の内容	エリア会議、世界会議にて海外JCIメンバーとの交流の接点を拡大し、有機的なネットワークを確立するための事業。
実施日時	6月13日(土)、11月8日(日)
場所・会場	コタキナバル・ミンガーデン、金沢城二の丸庭園
参加人数報告	計画：400人 結果：320人
実施方法の工夫	コタキナバルにおいてはシスターJCとの交流に限定して招待しました。金沢においてはシスターの有無を問わず参加可能とし、ジャパンナイトなど各所で海外メンバーの誘致を行いました。
事業目的に達した点	シスターJCをはじめ海外メンバーとの交流を深めることができました。
事業目的に達しなかった点	金沢では雨天開催だった為、参加者が減少してしまいました。

スタッフ

幹事	副委員長	委員	金 思淵	高瀬 隆之	恒岡 澄典	西上 潤	福田 大輔	森田 修二	米村 栄一
一瀬 知史	安藤 利江	赤井 亮	小坂 浩太	竹下 健吾	寺岡 竜太郎	能村 晋太郎	藤井 裕介	山根 ひろみ	
大塚 華世	池田 昌彦	伊藤 さおり	齋藤 優貴	巽 宏彰	長尾 高人	馬場 智蔵	藤本 勝仁	矢本 浩教	
岡口 忠嗣	西光 靖喜	大道 誠	寄本 将光	田中 幸子	中田 耕平	東原 栄志	本田 拓也	吉武 涼子	
小上 茂樹	山田 浩介	金山 紘彰	島村 真以	田原 洋司	中村 宜嗣	備前 秀和	松野 辰也	吉本 千春	
	山本 洋子	神崎 修一	神藤 昌平	田村 俊浩	成田 豊	平岩 佑彦	村川 貴史	米澤 直斗	

▶ 会員開発委員会 山本委員会

基本方針

大阪の都市に常に新しい風を起こす意識を高めていきます。

事業計画

私たちは、世の中が抱える問題を自分ごととして捉え、より良い未来の創造に求められる役割と責任を果たし、都市を想う人びとと共に感性を高め合える関係を築き、次代に向かって臆することなく変化し、大阪の都市に常に新しい風を起こす意識を高めていきます。

事業報告

1. 新入会員拡充

事業の内容	新入会員拡充
実施日時	1月～3月
場所・会場	各実施会場
参加人数報告	計画：245人 結果：252人
実施方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■事業説明会・異業種交流会に参加者が参加しやすいように、アクセスを重視したビジネス街に近い場所に開催場所を選定しました。 ■平日の日中に異業種お茶会を開催し、開催時間を拡大することで、多様な人材と出会う接点を作りました。 ■2月度公開月例会を拡充対象者にターゲットを絞って開催し、大阪青年会議所の魅力を知ってもらう機会を創出しました。
事業目的に達した点	4月入会で245名の目標に対して252名の新入会員を拡充することができました。
事業目的に達しなかった点	他委員会や先輩諸兄にも拡充に対する協力をいただくために、スケジュールを立て、計画的に進めることができれば、目標達成に近づくと考えます。





2. 整肢学院児童レクリエーションの企画と実施

事業の内容	整肢学院児童レクリエーションの企画と実施		
実施日時	6月27日(土)		
場所・会場	大阪整肢学院、大阪市立豊崎小学校		
参加人数報告	計画：	■対内 旧人：85人／新人：189人／役員：15人 合計：289人 ■対外 児童：96人／職員：60人 合計：156人	
	結果：	■対内 旧人：85人／新人：189人／役員：15人 合計：289人 ■対外 児童：91人／職員：52人 合計：143人	
実施方法の工夫	<p>■大阪市立豊崎小学校に協力いただき、グラウンドを利用した大運動会を実施することで、あらゆる可能性に対し何事も諦めることなく互いが潜在的に持つ感性を尊重し合える連帯感を生み出していくような運動会を企画することができました。</p> <p>■共同企画では、児童たちと共に菜園を作り事業実施後も継続的な関わり合いを新人メンバーと児童たちが持つことで、整肢学院事業で芽生えた気持ちを再認識し、これからのJC活動に前向きに取り組む気持ちを醸成できていると考えます。</p>		
事業目的に達した点	すべての企画において、新人メンバーが企画を立てることで、失敗を恐れることなく、自らが主体的に行動するメンバーとなることができました。		
事業目的に達しなかった点	旧人メンバーには当日の運営に関わっていただきましたが、企画段階から事業に関わってもらうための巻き込みが足りておらず、運営のみの関わりでは主体的に行動する意識を高めるには十分とは言えませんでした。		



私たち会員開発委員会山本委員会は、世の中が抱える問題を自分ごととして捉え、より良い未来の創造に求められる役割と責任を果たし、都市を想う人びとと共に感性を高め合える関係を築き、次代に向かって臆することなく変化し、大阪の都市に常に新しい風を起こすフロンティアスピリット溢れる人びとへと意識を高めていくことを主眼に活動を行いました。

そのために、まずは組織全体で掲げた245名を目指した拡充活動を行い、結果252名の新人拡充を実現しました。そして、新たな仲間に入会式・新人セミナーを経験してもらい、この国の歴史と大阪の都市の豊かな精神性に誇りを持って次代を牽引する人材としての求められる使命感を育みました。また、整肢学院児童レクリエーションの企画と実施では、新入会員が主体となり、あらゆる可能性に対し何事も諦めることなく、互いが潜在的に持つ感性を尊重し合える連帯感を生み出してきました。さらに、なにわ淀川花火大会運営への協力では、当事者として世の中のニーズを感じ取り、自らが新たな価値の創造に向かい覚悟をもって変化していく気概を醸成してきました。そして、「大阪の資産創造事業」「五感洗練事業」「SR感性創造事業」「未来感性創造事業」「新しい時代創造事業」の5つの新人企画事業を計画し、時代の変革期に自ら先頭に立って未来を切り拓き、フロンティアスピリットに溢れるリーダーへと意識を高めていくことができました。

最後になりますが、本年度お世話になりました皆様方に心より感謝と御礼を申し上げ、会員開発委員会山本委員会の幕を閉じさせていただきます。本当に一年間ありがとうございました。

Kenichiro
Yamamoto



委員長
山本 健一朗

スタッフ

幹事	副委員長	委員	岩永 憲浩	加藤 慶太	斉藤 町子	瀬川 隆行	中川 知子	藤田 恭子	森村 洋右
有馬 豪志	河東 猛	天川 洋介	大田 章裕	亀井 正智	坂 昌樹	高橋 大輔	中村 桂	堀口 龍介	山本 紗鈴
小倉 康宏	刀祢 達哉	新井 敏之	大東 俊也	鳥山 崇	坂本 哲平	田重田 勝一郎	中村 文隆	松田 晋	山本 貴也
田中 昌浩	中神 明生	安藤 大介	押村 直志	川崎 裕樹	澤田 宏子	田中 剛兵	成田 宏美	松山 和徳	柚野 寿和
横山 哲也	長友 憶	石川 奈々子	小野 晋司	姜 永守	下地 龍	土山 貴浩	橋詰 源一郎	三木 俊輔	横山 大典
	茗荷 崇之	石盛 輝行	小原 佳人	木下 隆英	神農 将史	徳永 真介	橋野 久人	道田 喜一郎	吉川 伸明
		稲次 啓介	片畑 博貴	小佐井 美樹	鈴木 一宏	富田 かおり	福原 憲人	森井 智士	吉鷹 康寿

▶ 会員開発委員会 河野委員会

基本方針

社会に新たな風を巻き起こす価値を創造する意識を高めていきます。

事業計画

私たちは、急速に変化する社会の実情や背景を俯瞰的に捉え、未来に向かって大きなビジョンを想い描き、何事にも諦めることなく積極果敢に挑戦し、都市の抱える課題を自分ごととして受け止め、社会に新たな風を巻き起こす価値を創造する意識を高めていきます。

事業報告

1. 新入会員の指導・育成

事業の内容	入会式・新人セミナーの企画と実施
実施日時	4月4日(土)・5日(日)
場所・会場	ナレッジシアター・勝尾寺
参加人数報告	計画：324人 結果：335人
実施方法の工夫	<p>■入会式は大阪の中心であるグランフロント大阪ナレッジシアターにて開催し、五感を活かした臨場感ある設営を実施いたしました。</p> <p>■新人セミナーは勝尾寺にて実施し、OSAKAOMOROナイトや大阪創造プロジェクトを通じて、新人同士が懇親を図り議論できる場を創り上げました。</p>
事業目的に達した点	新しく出会った仲間と共に、大阪の都市の課題は何かを考え、これからの未来に向かってのビジョンを想い描くことができました。
事業目的に達しなかった点	新人メンバーの一部の方については、新しい価値観を持って議論するということが、まだまだ困難な面がありました。この点につきましては、今後の事業活動を通じて、育成・指導いたします。





私たち会員開発委員会河野委員会は、急速に変化する社会の実情や背景を俯瞰的に捉え、未来に向かって大きなビジョンを想い描き、何事にも諦めることなく積極果敢に挑戦し、都市の抱える課題を自分ごととして受け止め、社会に新たな風を巻き起こす価値を創造する意識を高める活動を行って参りました。

そのために、まずは組織全体で245名の新入会員の拡充活動を行い、252名の新人拡充が実現しました。そして、1泊2日の入会式・新人セミナープログラムを経験してもらい、大阪の都市の豊かな精神性や65年続く大阪青年会議所の歴史を感じていただき、急速に変化する社会の実情や背景を俯瞰的に捉える考察力や、未来に向かって大きなビジョンを想い描く創造力を培ってもらいました。また、整肢学院児童レクリエーションの企画と実施では、新入会員が主体となり、あらゆる可能性に対し何事にも諦めることなく立ち向かっていく積極果敢な行動力を高めました。さらに、なにわ淀川花火大会運営への協力では、新入会員が主軸として当日・翌日の運営を行い仲間と共に目の前にある課題解決に向かって、誰よりも率先して協力し合う感性を磨くことが出来ました。

そして、5つの新人企画事業をとおして252名の新人全員が主役となり、未来を自分自身でより良く変化させる決断力を育み、5つの企画事業を集大成とし、フロンティアスピリットに溢れるリーダーへと意識を高めていくことができました。一年間本当にありがとうございました。

Naoki
Kono



委員長
河野 尚樹



2. なにわ淀川花火大会の運営への協力

事業の内容	なにわ淀川花火大会の運営への協力
実施日時	8月8日(土)・9日(日)
場所・会場	淀川堤防一帯
参加人数報告	<p>計画：8日 ■ 対外220人 対内603人 合計 823人 9日 ■ 対外480人 対内643人 合計1,123人 結果：8日 ■ 対外162人 対内423人 合計 585人 9日 ■ 対外429人 対内288人 合計 717人</p>
実施方法の工夫	<p>■ 新人拡充ボランティア50名を集め、企業・学生・一般合わせ多くのボランティアを募る企画を実施いたしました。</p> <p>■ 新入会員を主体として花火リーダーズを結成し、事業の運営の中核を担いJCI大阪メンバー全員の取りまとめを育成カリキュラムとして取り入れました。</p>
事業目的に達した点	新人メンバーによる花火リーダーズを設け、リーダーズ会議を繰り返しながら準備を進めることで、事前準備・大会当日・翌日清掃に主体的に関わることができました。また自らがボランティア活動を行うことで、仲間と共に目の前にある都市の課題解決に向かって、誰よりも率先して協力し合う感性を磨いてもらうことができました。
事業目的に達しなかった点	事業に参加していただいた皆様には、目的である都市の抱える課題を自分ごととして受け止める意識を高めてもらう事ができましたが、運営委員会との打合せの中でボランティアの数が多いと人数制限を受けた為、当日、翌日のボランティア数が目標に達することができず、より多くの人に運動を拡げることができませんでした。

スタッフ

幹事	副委員長	委員	小田 啓太	黒松 宏吏	昭野 元宏	高橋 顕明	畠 伸太郎	三木 章広	吉田 義章
小嶋 隆文	荒西 将志	浅海 聡	梶木 太嗣	斉藤 直敏	杉本 香澄	高橋 佑太	馬場 裕也	森下 真男	依田 雅
島田 直樹	田中 大介	石田 貴志	加藤 良子	三栄 宏章	杉本 智則	田中 英稔	原 英彰	安平 晃宏	若松 耕三
堀中 政則	谷川 安徳	井上 昌浩	狩野 雅彦	塩見 陽子	鈴木 あかり	出口 一馬	深井 光雄	山崎 泰嗣	
森田 友祐	藤本 和将	今田 晴久	川上 確	品川 佳之	角田 英二郎	十川 知芳	二村 伸紀	山崎 由佳	
	吉澤 宏之	今福 聡一	楠 茂樹	信田 光晴	瀬川 文武	徳留 雄司	松尾 大	山本 恵理	
		苅木 太郎	黒田 健夫	芝伐 佑介	関口 正輝	友藤 忠昭	松下 正平	横 大貴	

02

Human Resource Development
Group

人創り グループ



Future Leader Development Office

未来のリーダー育成室

Takuro
Sasaki



室長

佐々木 琢郎

本年度、未来のリーダー育成室では、多忙を極める教育現場では学力での評価に重点が置かれ、自主的に考えて行動する力を伸ばす環境を整えることが難しいと考えました。今こそ、地域のコミュニティに蓄積された資産を活かし、未来に夢を思い描き、新しい価値を生み出す感性を磨く必要があると考えました。

そのために、互いの成長へとつながる有益な関係で結ばれ、大阪特有の精神性を贈り継ぎ、子どもに大きな夢を思い描く力を育み、世界を見据え未来を切り拓く志を高め、地域が一体となり新しい価値を生み出す感性豊かなリーダーを育成していく環境を創造することを目的に様々な運動を展開して参りました。

未来の力創造委員会では、子どもを対象に、理想とする未来に大きな夢を思い描く生き活きとした子どもを溢れさせることを基本方針として掲げ、わんぱく相撲大会、キッズアドベンチャーを開催致しました。わんぱく相撲大会は本年度で第34回を数え、大阪市教育局委員会をはじめ多くの皆様、ボランティアの皆様にご協力を頂戴しました。また、現役横綱の応援メッセージや弓取式を事前に告知することによって、1,364名の小学生にご参加頂きました。そして、キッズアドベンチャーでは、日本と海外の小学生4年生～6年生がチームを作り大阪市内のチェックポイントにおいて、力を合わせて異なる文化や価値観に興味を抱き、大きな夢を思い描く生き活きとした子どもを溢れさせることができました。

未来のリーダー育成委員会では、地域の大人たちを対象に、感性豊かな子どもを育む意識を高めてもらう事を基本方針として掲げ、大阪市内の小学校にて、出前授業を80授業開催し、子どもたちに地域で活躍する大人たちの仕事に触れる機会を提供することで、感性豊かな子どもたちを育む為に大人の意識を高めました。

本年度、未来のリーダー育成室では、「少年よ！大志を抱け！」を室テーマに掲げ、様々な事業を行い、各委員会が力を合わせることで、感性価値を創造する都市大阪を実現することが出来ました。一年間ありがとうございました。

所属委員会

未来の力創造委員会

未来のリーダー育成委員会

室テーマ

少年よ！大志を抱け！

▶ 未来の力創造委員会

基本方針

理想とする未来に大きな夢を思い描く活き活きとした子どもを溢れさせます。

事業計画

私たちは、周りに起こる様々な事象を自分事として捉え、異なる文化や価値観に興味を抱き、掲げた目標に向け率先して行動する気概を有し、いかなる状況においても自分の可能性を信じ、理想とする未来に大きな夢を思い描く活き活きとした子どもを溢れさせます。

事業報告

1. わんぱく相撲大阪市大会

事業の内容	大阪市内の小学生男女1年生～6年生が相撲に取り組み、掲げた目標に向け率先して行動する気概を有する活き活きとした子どもを溢れさせる事業。
実施日時	5月31日(日)
場所・会場	大阪府立体育会館
参加人数報告	計画：小学生1,500人 結果：小学生1,364人
実施方法の工夫	今回現役横綱の応援メッセージや弓取式を事前に告知することによって集客が増えたと考えます。
事業目的に達した点	頑張っている仲間たちの姿を見て応援し、自分も応援してもらうことにより、必要以上の力が発揮できるとともに仲間の大切さを実感してもらうことを目的とし、その結果、頑張ろうという気持ちになった子どもは、参加者の94%いました。
事業目的に達しなかった点	もう少し早い段階で小学校へのチラシによる告知をするべきだと考えます。

2. キッズアドベンチャー2015

事業の内容	日本と海外の小学生4年生～6年生がチームを作り、大阪市内の各所のチェックポイントを力を合わせてクリアし、異なる文化や価値観に興味を抱き、大きな夢を思い描く活き活きとした子どもを溢れさせる事業。
実施日時	10月10日(土)～12日(月)
場所・会場	大阪市内
参加人数報告	計画：日本の子ども60人 海外の子ども30人 結果：日本の子ども60人 海外の子ども33人
実施方法の工夫	今回チームメイトと互いに助け合わないとクリアできないスタンプラリーを取り入れ、最終日はフェアウェルパーティーでみんなに将来の夢の絵を描いてもらい発表してもらいました。
事業目的に達した点	今回海外の子どもたちが参加することによって、異なる文化や価値観に興味を抱き大きな夢を思い描くことが出来る日本の子どもたちを増やすことが出来ました。
事業目的に達しなかった点	十分なシミュレーションができず進行に時間がかかってしまいました。





スタッフ

幹事	副委員長	委員	圓藤 政臣	川崎 聡介	里内 博文	高松 忠紀	中野 繁明	畑中 学	松田 健作
大仲 政樹	池上 恭介	荒川 めぐみ	大垣 有作	河村 章	清水 典隆	竹垣 敦啓	中村 健	播磨 克彦	森田 優一
川畑 太介	小澤 廣介	和泉 憲幸	大藪 賢志	小松原 徳人	神野 貴勝	中馬 和子	中山 浩介	東 壮一	森山 光樹
齋藤 亨	友綱 満	一瀬 香織	岡村 論	税所 直子	洲鎌 智	飛松 智志	西川 智子	深田 博司	柳 智也
中尾 航志	中嶋 啓介	伊藤 健太郎	小野田 仁	阪口 小百合	鈴木 伸行	富田 博文	新田 雄士	前田 智之	
	濱崎 恭明	岩本 樹明	勝亦 謙介	佐々木 清一	高城 康二	中田 雅英	長谷川 浩久	横尾 真法	

私たちは感性価値を創造する都市大阪の実現のために、生き活きとした子どもを溢れさせる運動として、未来の力創造事業(わんぱく相撲・キッズアドベンチャー)を実施させて頂きました。

わんぱく相撲では、今回現役の横綱のビデオメッセージから始まり、弓取式も直に子どもたちに見てもらうことができ、子どもたちの生き活きとした姿を見ることができました。各土俵取り組み前に「挨拶」と「礼」を推奨することで礼節に関してしっかり学んで頂き、未来の夢スライドショーではみんなの夢をボードに書いてもらい当日スクリーンにて放映することができました。

キッズアドベンチャーでは、日本の子ども60名、海外の子ども33名が10チームに分かれて、2泊3日かけて大阪市内の各所のチェックポイントを順次通過する過程で、普段経験することのない課題を克服したり、海外の子どもたちと寝食を共にすることで異なる文化や価値観に興味を抱いてもらったり子どもたちの心を育むための様々なプログラムを行いました。最後のフェアウェルパーティーの時に自身のもつ夢を仲間や多くの大人の前で絵にして発表してもらい、振り返り映像を上映し終わった時に子どもたちや保護者の方から拍手が鳴り止みませんでした。

私たちは、周りに起こる様々な事象を自分事として捉え、異なる文化や価値観に興味を抱き、掲げた目標に向け率先して行動する気概を有し、いかなる状況においても自分の可能性を信じ、理想とする未来に大きな夢を想い描く生き活きとした子どもを溢れさせ、感性価値を創造する都市大阪を実現いたしました。

最後になりますが、1年間を通してご協力頂きました行政、学校、各種団体、企業、個人の皆様に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。

Hiroaki
Yagi



委員長

八木 弘晃

▶ 未来のリーダー育成委員会

基本方針

未来を柔軟な発想で思い描く感性豊かな子どもを育む意識を高めていきます。

事業計画

先人から受け継いできた精神性を備え、社会との繋がりの中で生かされていることに感謝し、取り巻く人びとと支え高め合う関係を築き、目的の実現に向けて率先して行動し、未来を柔軟な発想で思い描く感性豊かな子どもを育む意識を高めていきます。

事業報告

1. 社会人講師事業

事業の内容	大阪市内の小学校にて、出前授業を80授業開催し、子どもたちに地域で活躍する大人たちの仕事に触れる機会を提供することで、感性豊かな子どもたちを育む為に大人の意識を高める事業です。
実施日時	4月より随時開催
場所・会場	大阪市内小学校
参加人数報告	計画：市内70授業 結果：現在63授業、来年3月までに残り20授業を予定
実施方法の工夫	講師の育成には、育成マニュアルを使い、誰でも講師を行うことが出来ることを提案しました。また、年間6回の土曜日授業に出前授業を提案することで、講師の方はもとより保護者の参加が増加し、より大人の方に事業の必要性を発信できたと確信しております。
事業目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> ■先人から受け継いできた精神性を備えた感性豊かな子どもを育む意識を高めていきます。 ■社会との繋がりの中で生かされていることに感謝する感性豊かな子どもを育む意識を高めていきます。
事業目的に達しなかった点	特になし





私たちは、感性価値を創造する都市大阪を実現する為に、年間を通して、未来のリーダーとして次代を牽引していく感性豊かな子どもたちを育む大人の意識を高める運動として、未来のリーダー育成事業（社会人講師事業）を行ってまいりました。

大阪青年会議所の社会人講師事業として開始し9年目となる今年の特徴として、土曜日授業に特化したことで地域の大人の方が子どもの育成に関わる機会を増加致しました。結果として、保護者の方に授業参観として子どもたちが様々な仕事の話を楽しそうに聞いている姿を見ていただくことが出来ました。

また、講師育成マニュアルを作成し、誰でも講師として教壇に立つていただく機会があるということを伝えることで、参加し易い、地域に密着した事業となるように致しました。これにより、保護者の方から社会人講師として教壇に立つて子どもたちに自分の経験を伝えたいと申し出ていただくこともあり、事業の拡がりを実感致しました。

また、小学校の先生方、教壇に立っていただいた講師の方に対しても、家庭や学校だけではなく、地域の大人が子どもの育成に関わることの重要性を再認識していただき、感性豊かな子どもを育む意識を高めることが出来たと確信しております。

最後になりますが、1年間を通してご協力いただきました、大阪市、学校、各種団体、企業の皆さまに感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。

今後とも社会人講師事業にご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

Seiji
Sakai



委員長
坂井 征司



スタッフ

幹事	副委員長	委員	岩谷 良平	香川 正和	菅原 知	津波 文雄	土生 康晴	水野 成浩
秋田 俊幸	植松 康太	青木 信成	内本 明伸	片山 陽子	杉山 一穂	土井 龍輔	葉山 博喜	村上 秀信
下岡 佑一郎	古賀 章広	安部 久史	大宗 輝義	阪野 絵理	瀬上 由布子	友野 隆光	船倉 亮慈	山田 隆則
鈴木 威信	島 哲士	新井 一秀	大和田 陽子	坂本 裕喜	高室 直樹	西川 晃司	前田 徹	山田 秀明
中尾 武史	中谷 洋輔	栗田 涼子	奥野 雅明	櫻井 陽子	田口 善隆	長谷川 栄雄	茉津本 二夜	山本 義繼
	松下 兼久	入江 薫	表 秀和	白崎 識隆	辻 秀明	羽原 功峻	丸尾 怜士	和田 良太

Global Leader Development Office

グローバルリーダー創造室

Ichiro
Oritake

室長

折竹 一郎

本年度、感性価値を創造する都市大阪の実現をめざす、私たちグローバルリーダー創造室では、急速なグローバル化による国際関係の変化に伴い、自国の利益のみを追求することが不可能な時代を迎える中、我が都市大阪から、日本は元よりグローバルな視点をもって、新しい価値を生み出し世界で活躍していく人財を創造しなければならないと考えました。

そのために、都市の歴史や普遍の精神を誇り、様々な国の背景や抱える課題を俯瞰的に捉え、世界の人びとと有益な関係で結ばれ、理想の未来を描ける力を持ち、大阪人特有の感性を礎に次代を切り拓くフロンティアスピリットあふれるリーダーを創造することを目的として一年間運動を展開して参りました。

チェンジメーカー創造委員会では、将来、大阪人特有の感性を活かして新しい価値を生み出す人材を創出することを基本方針として、本年度で6回目となるPeace Conference of Youth (PCY)を開催いたしました。国内外の優秀な学生40名を招致し、全9日間にもおよぶ数々のプログラムを通じて、相手を慮る心をもって、恒久的世界平和の実現に向けて自分たちができるアクションプランを導き出して頂きました。学生たちに価値観や文化を超えて、次代を切り拓くかけがえのない大きな想いと友情を築いて頂くことができました。

また、グローバルリーダー育成委員会では、これからの大阪、そして日本を力強く牽引する人材を育成することを基本方針として、大阪を中心とした関西圏の青年経済人を対象に大阪変革塾と称して、グローバルリーダーを育成する事業を5ヶ月間にわたり開催しました。田坂広志塾頭をはじめとする多くの著名な講師陣をお招きしての講演や、数多くのグループワーク、フィールドワークを経て臨んだプレゼンテーションによって、フロンティアスピリットにあふれたリーダーへと成長して頂きました。

当室では、フロンティアスピリットあふれるグローバルリーダーの創造に向けて『進取の風を、この大阪に!』をテーマに掲げ、数多くの関係者や各種団体とも協同することで相乗効果を図り、一年間を通じて大きな成果をあげることができました。一年間ありがとうございました。

所属委員会

チェンジメーカー創造委員会

グローバルリーダー育成委員会

室テーマ

進取の風を、この大阪に！

▶ チェンジメーカー創造委員会

基本方針

大阪人特有の感性をもって新しい価値を生み出す人材を創出していきます。

事業計画

私たちは、異なる価値観を真摯に受け止め、それぞれの国が抱える問題と背景を俯瞰的に捉え、世界の人びとが響き合う有益な関係を思い描き、自らの信念に基づき積極果敢に挑戦し、大阪人特有の感性をもって新しい価値を生み出す人材を創出していきます。

事業報告

1.PrePCY

事業の内容	国内学生、留学生を対象にしたPCYの認知度向上およびテーマへの見識や世界平和実現への意識を向上させる事業。
実施日時	8月2日(日)
場所・会場	大阪青年会議所事務局
参加人数報告	計画：学生：30人/JCI大阪メンバー：52人/合計：82人 結果：学生：29人/JCI大阪メンバー：30人/合計：59人
実施方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■池間哲郎氏による講演にて、根本的に必要な相手を慮る精神性の重要性を知って頂きました。 ■実際のPCYで行うグループディスカッションとプレゼンテーションを事前に模擬実施しました。 ■カンボジアの事前学習を兼ね、活動経験のあるファシリテーターのもと、Preアクションプランの作成を体験してもらいました。
事業目的に達した点	講師講演によりテーマへの理解、対象地域の実情への理解が深まりました。また、事前課題及びグループワークの場において当事者意識の向上の機会を確保できました。
事業目的に達しなかった点	<ul style="list-style-type: none"> ■世界学生平和憲章への理解が浅かったため、チャーターに基づいたグループワークの進行ができませんでした。前提条件としてチャーターへの理解を深めて頂く必要があります。 ■模擬的なアクションプラン構築へのファシリテートが十分機能しませんでした。時間をかけて委員会においてシミュレーションする必要があります。





2.PCY2015 カンボジア実感研修

事業の内容	カンボジアへの視察を通じて貧困の実情を知る機会を提供することで、それぞれの国が抱える問題と背景を俯瞰的に捉え、自らの感性を磨き、テーマの解決に向け積極果敢に挑戦する事業。
実施日時	8月22日(土)～25日(火)
場所・会場	ホテルコスモスクエア国際交流センター、他
参加人数報告	計画：学生：30人／ファシリテーター：1人／JCI大阪メンバー：52人／合計：83人 結果：学生：38人／ファシリテーター：1人／JCI大阪メンバー：40人／合計：79人
実施方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■机上から議論を始めるのではなく、途上国の現実を目の当たりにしてもらいました。 ■日本との違いを俯瞰的に捉え、自身の国のあり方、また、テーマへのアクセス等を学んでももらいました。 ■異なる国での経験により、世界の貧困で苦しむ人びとの視点にたったアクションプランを構成する一助とできました。
事業目的に達した点	プログラム全体を通じて、事業目的である、異なる価値観を真摯に受け止め、それぞれの国が抱える問題と背景を俯瞰的に捉え、世界の人びとが響き合う有益な関係を想い描き、自らの信念に基づき積極果敢に挑戦し、大阪人特有の感性をもって新しい価値を生み出す人材となる意識を育むことができました。
事業目的に達しなかった点	特になし

スタッフ

幹事	副委員長	委員	植松 大介	金村 聡	酒井 七郎	高橋 和哉	西野 嘉一	森 和孝
小原 伸一郎	宇都宮 和加人	青野 圭佑	牛渡 裕也	吉瀬 昇	坂井 政一	宅島 一嘉	飛渡 貴之	盛田 悟史
竹内 万征	金澤 学	青山 友和	小川 将史	木下 一郎	坂口 浩聡	田中 恵美	布川 孝志朗	山根 勝己
丸山 正人	松原 誠道	池本 誠知	奥山 隆輔	小居 雅司	佐飛 真梨	寺前 雅文	藤井 準	山根 鉄平
吉村 大助	道前 慶高	伊藤 淳	尾上 尚史	小玉 恵美	清水 勇宏	土肥 宏彰	南林 弘基	吉田 洋行
	矢谷 一郎	上原 大助	檜畑 貴典	佐伯 太郎	白石 将太郎	中村 誠広	村田 陽一	吉本 一美



3.PCY2015フォーラム

事業の内容	国内外すべてのPCYメンバーが集結し寝食を共にしながら、テーマに即してグループディスカッション、フィールドワークを通じて価値観を受け止め、世界の人びとが響き合う有益な関係を想い描く事業。 特別講師の講演、並びに講師をPCYで導き出した事業モデル（アクションプラン）を学生たちが発表・提言することで、自らの信念を構築し、新しい価値を生み出すチェンジメーカーへの礎を培う事業。
実施日時	8月30日(日)
場所・会場	大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
参加人数報告	計画：学生：40人／ファシリテーター：1人／一般：225人／JCI大阪メンバー：52人／合計：318人 結果：学生：38人／ファシリテーター：1人／一般：232人／JCI大阪メンバー：40人／合計：311人
実施方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■興味のあるテーマ別に海外学生、留学生、国内学生を混在させグループを構成したことで活発な議論を引き出すことができました。 ■フィールドワークでは日本の精神文化に触れる機会に重点をおき、おもてなしの心や万物に感謝する心を海外学生に理解して頂きました。 ■PCYで考案した事業プランを映像とプレゼンテーションによって来場者に向けて発信したことで、恒久的世界平和の実現に向けて一歩踏み出す信念を培うことができました。
事業目的に達した点	プログラム全体を通じて、事業目的である、異なる価値観を真摯に受け止め、それぞれの国が抱える問題と背景を俯瞰的に捉え、世界の人びとが響き合う有益な関係を想い描き、自らの信念に基づき積極果敢に挑戦し、大阪人特有の感性をもって新しい価値を生み出す人材となる意識を育むことができました。
事業目的に達しなかった点	NGO団体の講演内容が専門的な内容になってしまったため、一般来場者やJCI大阪メンバーに目的の意義を十分理解してもらえませんでした。

私たちチェンジメーカー創造委員会は、感性価値を創造する都市大阪の実現のために、新しい価値を生み出す人材を創造することを運動として、『感性を磨き、新しい価値を創造する』をスローガンとし『貧困問題を、持続発展可能な社会を構築して解決!』をテーマに掲げ、チェンジメーカー創造事業(世界学生平和会議(PCY))を実施させて頂きました。

PrePCYを国内学生向けに開催し、池間哲郎氏による相手を慮る精神性を学ぶ講演や、実際にカンボジアで支援活動に従事された経験があるヴァージル先生に全プログラムをファシリテートして頂くことで、より身近に世界の諸問題を感じ、恒久的世界平和の実現に向けて何が出来るのかを考える機会を提供することができました。

また、PCY事業では、カンボジアに赴き、現地の小学校への支援活動をブノンペンJCと共同で実施し、それぞれの国が抱える問題と背景を俯瞰的に捉える力を養って頂きました。そして現地邦人NGOを訪問し、活動内容について対話やNGOの歩みを知ることで、世界の人々が響き合う有益な関係を想い描くための一助として頂くことができました。

大阪プログラムでは、国内外のメンバーを問わず議論を重ねることを通じて感性を磨き合い、新しい価値を生み出すチェンジメーカーとなる意欲を高めて頂きました。そして、プログラムの集大成として、PCYフォーラム2015において、各国領事館や実質的な世界の問題解決に取り組むNGO団体や市民の方々の前で、多次元的な貧困を解決するためのアクションプランを発表し恒久的世界平和の実現への確かな一歩を踏み出して頂きました。

本年度のPCYメンバーにはプログラムを通じて、感性を磨き、新しい価値を生み出すチェンジメーカーへと成長する経験をして頂くことができました。

最後になりましたが、ご協力を頂きました大学、NGO団体、JCI台北、JCIブノンペンの皆様に心から感謝を申し上げます。

Masashi
Kojima



委員長
小島 雅士

▶ グローバルリーダー育成委員会

基本方針

公へ尽くす心意気を礎に日本を牽引する人材を育成していきます。

事業計画

私たちは、都市を創り上げてきた先人たちの精神を受け継ぎ、変化していく世界情勢を俯瞰的な視点から捉え、現状を力強く打破していく発想力を有し、理想の未来を自らが創造する気概に満ち溢れ、公へ尽くす心意気を礎に日本を牽引する人材を育成していきます。

事業報告

1. グローバルリーダー育成事業の企画と実施

事業の内容	大阪変革塾と称して、大阪の青年を対象としたグローバルリーダーを育成する事業。
実施日時	6月6日(火)～10月18日(日)
場所・会場	大阪イノベーションハブ、他
参加人数報告	計画：一般参加者(塾生) 100人 結果：一般参加者(塾生) 94人
実施方法の工夫	大阪から日本を変革していくフロンティアスピリットをもったグローバルリーダーを育成するために、田坂広志塾頭をはじめ、多くの著名な講師陣をお招きしてプログラムを実施しました。また、大阪市を母体とする大阪イノベーションハブと共催し、様々な協力を得ることにより効果の高い事業を実施することが出来ました。
事業目的に達した点	5ヶ月に及ぶ講師陣の指導や数多くのグループワーク、フィールドワークを経て、これからの日本を力強く牽引するフロンティアスピリットにあふれた54人の卒塾生を輩出しました。
事業目的に達しなかった点	人材をより多く育成することを目的としていましたが、卒塾出来なかった一部の塾生に対しては十分な育成は出来ませんでした。





私たち、グローバルリーダー育成委員会は感性価値を創造する都市大阪の実現のために日本を牽引する人材を育成する事業を実施して参りました。

大阪から日本を牽引していく人材を大阪の青年から生み出していくために、『大阪変革塾』と称して6月から10月にかけて5ヶ月間の事業を実施しました。年齢も職業も多種多様な94人の塾生がグローバルリーダーをめざしてハードなカリキュラムをこなしてきました。元内閣官房参与・多摩大学大学院教授の田坂広志氏を塾頭として、また各界で活躍する多彩な講師をお招きし、塾生たちは授業、フィールドワーク、公開プレゼンテーションを行い、グローバルリーダーとしてのスキルを高めてもらいました。

また大阪イノベーションハブとの共催をはじめとして、大阪市経済戦略局、公益財団法人太平洋人材交流センターなど多くのご協力を得て、事業を実施することができました。各プログラムにおける会場の提供、各種プログラムへの提言、人材の紹介など様々な場面でご協力をいただき、塾生の資質向上に大いに効果がありました。

また事業の集大成として大阪を変革するプランを塾生たちが創り上げ、一般公開でプレゼンテーション大会を実施しました。当日はナレッジシアターが満席となり、事業への関心の高さと大きな期待を感じることができました。

事業を通して、感性価値を創造する都市大阪の実現のために日本を牽引する人材を育成することが出来たと確信しております。

一年間、本当にありがとうございました。

Yoshihiro
Hatta



委員長
八田 善博

スタッフ

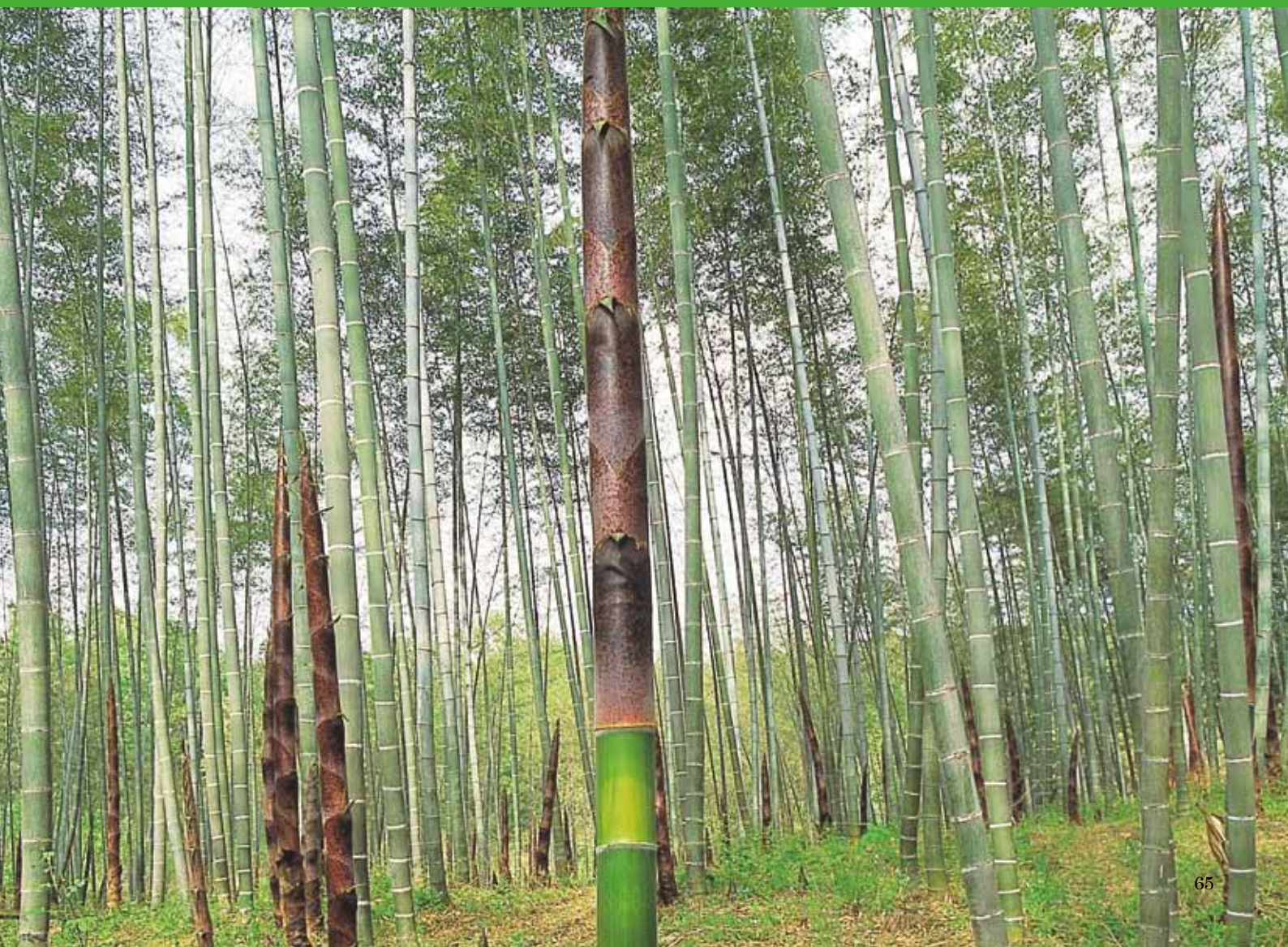
幹事	副委員長	委員	小國 博貴	木村 真規	菅 繁伸	富坂 知	濱永 健太	水本 智仁	吉田 貴俊
辻本 一磨	江川 浩司	安里 信友	奥本 和久	清岡 義教	高柳 実	中谷 光一	林 耕造	村尾 尚太郎	
中西 隆人	合田 佳史	石川 智也	越智 敬一	小寺 陽平	竹中 秀夫	中辻 史記	平安 宏充	守倉 友希	
中村 文彦	新川 高広	大槻 高史	梶田 晋一郎	小森 省吾	谷 和也	鍋谷 直輝	古屋 栄二	山口 貴士	
諸岡 憲悟	辻野 晃弘	大幡 武司	北川 恭介	笹田 真義	丹波 英太郎	西川 武尊	松井 勝吉	山本 剛士	
	古庄 敏之	岡山 和弘	木戸地 陽平	徐 光一	辻 亮	服部 悠介	松村 太輔	山本 宣仁	



03

Potential Expansion
Group

資質向上 グループ



Soft Value Creation Office

感性価値創造室

Toyokazu
Yamasaki



室長

山崎 豊和

本年度、私たち感性価値創造室では「いつの時代も変革の旗手であれ!」を室テーマに掲げ、感性価値を創造する都市大阪の実現に向かい邁進してまいりました。時代の変革期を生きる私たちは、突きつけられた現実を真摯に受け止め、自らの決断で停滞する現状を変化させる必要があります。私たちは大阪人の感性を以って、公に貢献する意識を呼び覚まし、未来を切り拓く風を起こす先鞭となる必要があると考えました。

そのためには、創始より脈々と引き継がれてきた想いを受け継ぎ、互いを思いやり合う心で結ばれ、公に貢献する意欲をもって豊かな社会を思い描き、何事にも臆することなく決断していく気概を携え、次世代の風を感じ取れる有益な関係を築く感性を磨いていくことを目的に様々な運動を展開して参りました。

感性価値創造委員会では、会員の意識を高めることを運動の柱とし、毎月行われる例会において事前にテーマを設定し、普段は招聘することが難しい文化人から著名人まで様々な方々にお越し頂き、一人ひとりが未来を切り拓いていく意識を高めることができました。また、組織の中核をつかさどる会員を対象とした100%出席小委員会賞を実施し、会員が例会に参加する新たな目的を構築することが出来ました。さらに、会員大会においては、初の試みとして縦型の配席を実施し、多くの会員の方々に参加して頂き、理事長が掲げられた「感性価値を創造する都市大阪の実現」を感じることが出来ました。

感性コミュニケーション確立委員会では、有益な関係を築くメンバーを溢れさせることを運動の柱とし、年頭の事業として新年名刺交換会を開催し、現役メンバーと先輩諸兄が2015年度の方向性を確認する貴重な場を創出させていただきました。また、65周年事業においては、関係各所にご協力を賜り、大阪青年会議所にしかできない素晴らしい事業を開催することが出来ました。さらに、普段体験することが難しいアトラクションを取り入れた家族会を開催し、大切な人びととのつながりを認識するメンバーを溢れさせることが出来ました。

感性価値創造室では、会員を対象とし、各種公式事業を開催させて頂くことにより五感を使い、次代の風を感じ取れる関係を築く感性を磨き、感性価値を創造する都市大阪を実現して参りました。本事業に関わっていただきました全ての皆様に感謝と御礼を申し上げます。一年間ありがとうございました。

所属委員会

感性価値創造委員会

感性コミュニケーション確立委員会

室テーマ

いつの時代も変革の旗手であれ！

▶ 感性価値創造委員会

基本方針

次代を担う青年として未来を切り拓いていく意識を高めていきます。

事業計画

私たちは、仲間と共に理想とする都市の姿を想い描き、変化し続ける社会に広い視野を以って向き合い、身のまわりで起こる様々な事象から本質を捉え、自分自身の果たすべき役割と責任を全うし、次代を担う青年として未来を切り拓いていく意識を高めていきます。

事業報告

1. 月例会（感性価値創造事業の企画と実施）

事業の内容	組織の方向性の確認と会員の資質向上の機会とします。
実施日時	1月～11月
場所・会場	帝国ホテル大阪
参加人数報告	計画：6,159人 結果：5,211人
実施方法の工夫	PLUS ONEとして前室での月替わり企画の実施や100%出席小委員会賞の設置、そして公開例会など、会員に関心を持っていただく設営に尽力いたしました。また、開会前カウントダウンの導入やOPムービーの内容にこだわることで、スムーズな進行を心掛けました。
事業目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> ■理事長挨拶、OPムービーを通して、仲間と共に理想とする都市の姿を想い描く意識を高めていただくことができました。 ■講師講演により、変化し続ける社会に広い視野を以って向き合い、身のまわりで起こる様々な事象から本質を捉え、自分自身の果たすべき役割と責任を全うする意識を高めていただくことができました。
事業目的に達しなかった点	年間出席率60%を目指しておりましたが、50.7%にとどまる結果となりました。事前の告知方法や早めの告知に努める必要がありました。





2. 会員大会の企画と実施

事業の内容	輝かしい功績を讃える大舞台の中で、仲間と共に切磋琢磨しながら経験してきた過程と成果から生まれる感動を分かち合う機会とします。
実施日時	12月8日(火)
場所・会場	リーガロイヤルホテル大阪 ロイヤルホール/光琳の間
参加人数報告	計画：OB：65人／現役：716人／同伴者：4人／合計：785人 結果：OB：73人／現役：724人／同伴者：5人／合計：802人
実施方法の工夫	五感に訴えかけることを心掛け、30メートルワイドスクリーンによる映像放映、入場口にロゴの照射などの演出をいたしました。また、縦型のテーブル配置やテーブルコーディネートなど、新たな試みにもチャレンジいたしました。
事業目的に達した点	アワードセレモニー、理事長引継セレモニーを通じて次代を担う青年として未来を切り拓いていく意識を高めていただくことができました。
事業目的に達しなかった点	特になし





私たち、感性価値創造委員会は感性価値を創造する都市大阪の実現に向け、メンバーが次代を担う青年として未来を切り拓いていく意識を高める運動を展開してまいりました。

本年度の月例会では、別所理事長が掲げられる組織の方向性を確認することができ、場を提供することで、理想とする都市の姿を想い描く意識を高めていただくことができました。また、多彩な講師をお招きしテーマに沿った講演をいただくことで、俯瞰的な視野、学ぶ力、公の精神の向上に努め、変化し続ける社会に広い視野を以って向き合い、身のまわりで起こる様々な事象から本質を捉え、自分自身の果たすべき役割と責任を全うする意識を高めていただきました。そして、輝かしい功績を讃える大舞台の中で仲間と共に切磋琢磨しながら経験してきた過程と成果から生まれる感動を分かち合う機会として実施した会員大会では、五感に訴えかける演出に努め、30メートルの開閉式巨大スクリーンでの映像放映や縦型の配席などを取り入れました。理事長挨拶では、感性価値を創造する都市大阪の実現を感じ、アワードセレモニー、理事長引継セレモニー、卒業式を通じて、信頼という絆で結ばれた仲間とのつながりを胸に、理想の未来に必要なCHANGEを率先して体現する心を発露していただき、次代を担う青年として未来を切り拓いていく意識を高めていただくことができたことを確信しております。

Masatoshi
Yoshii



委員長
吉井 雅俊

スタッフ

幹事	副委員長	委員	江崎 辰典	阪野 由一	玉置 真澄	永本 宗秀	福本 義人	増本 知之	吉内 一洋
青木 隆輔	河原 由次	青山 達至	岡田 望	赤代 理史	中川 譲治	西川 宜輝	藤田 哲士	村治 規行	羅 富生
井上 幹盛	古賀 大介	我妻 昌章	奥村 若枝	高橋 友香	中川 貴嗣	二宮 彰久	細尾 慶太郎	室谷 光一郎	和倉 聡美
竹越 徹	寺岡 龍朗	阿部 桂子	久保 武範	高山 匡貴	中川 雅照	原 和也	堀田 剛基	安田 圭佑	和倉 由佳
宮野 太津矢	友井 亮輔	今津 康夫	高知 誠	宝本 美穂	長野 裕樹	日野岡 信一郎	湊打 将史	安田 威	
	板東 学	上野 剛嗣	近藤 圭	谷口 真由	中村 光伸	廣橋 一早	前川 一成	横山 智子	

感性コミュニケーション確立委員会

基本方針

変化を恐れず突き進む有益な関係を築くメンバーを溢れさせます。

事業計画

私たちは、連綿と受け継がれてきた都市への想いを理解し、都市に眠る感性価値を目覚めさせる気概を携え、住み暮らす都市の中に存在する大切なつながりを認識し、果敢に決断する強い意志を備え、変化を恐れず突き進む有益な関係を築くメンバーを溢れさせます。

事業報告

1. 新年名刺交換会の企画と実施

事業の内容	大阪青年会議所が年初に行う最初の事業であり、現役並びに先輩諸氏と大阪青年会議所が掲げる一年の目標を共有する場として実施しました。
実施日時	1月8日(木)
場所・会場	帝国ホテル大阪 孔雀の間
参加人数報告	計画：OB：174人／現役：510人／合計：684人 結果：OB：197人／現役：515人／合計：712人
実施方法の工夫	過去事業映像を基軸とし、理事長の本年度への熱い想いを聞いて頂く場を創出するとともに、新年を祝う会として相応しい福娘からの福運び、そして、獅子舞の練り歩きを設営することで、現役と先輩諸氏が1年の方向性を共有できる場を設けました。
事業目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> ■過去事業映像にて先輩諸氏の活動されてきた熱い想いを理解し、名刺交換を通じて交流することにより、連綿と受け継がれてきた都市への想いを理解するメンバーを溢れさせることができました。 ■理事長挨拶において、本年度の運動の方向性を参加者全員で共有することにより、都市に眠る感性価値を目覚めさせる気概を携えたメンバーを溢れさせることができました。
事業目的に達しなかった点	特になし

2. 65周年事業の企画と実施 (OB現役交歓会の企画と実施)

事業の内容	本年度は記念すべき設立65周年にあたり、毎年実施している「OB現役交歓会」とともに「65周年記念式典」を実施し、現役メンバーと先輩諸氏が互いに喜びを分かち合う場として実施しました。
実施日時	8月4日(火)
場所・会場	リーガロイヤルホテル大阪 ロイヤルホール/光琳の間
参加人数報告	計画：OB：180人／現役：450人／合計：630人 結果：OB：236人／現役：460人／合計：696人
実施方法の工夫	記念式典ではノーベル賞受賞者を招聘し講演を行って頂き、OB現役交歓会においては日本を代表するヴァイオリニストに開会の演奏をして頂くとともに、65年間の大阪青年会議所の歴史を知ることが出来る様々な歴史記念品の展示や歴史映像を観て頂き、主体者として都市の未来を創り上げていく自覚を高める場を設けました。
事業目的に達した点	<ul style="list-style-type: none"> ■日本を代表するヴァイオリニストの熱い想いを知り、理事長と次年度理事長より今後も受け継がれていく熱い想いを知ることにより、果敢に決断する強い意志を備えたメンバーを溢れさせることができました。 ■世界を代表する講師による記念、そして大阪青年会議所が培ってきた65年間の歴史を知ることにより、変化を恐れず突き進む有益な関係を築くメンバーを溢れさせることができました。
事業目的に達しなかった点	特になし





3. 家族会（感性コミュニケーション確立事業の企画と実施）

事業の内容	青年会議所活動を支えてくれている一番身近な存在との絆を共有する場を提供し、メンバーがその大切なつながりを認識する場として実施しました。
実施日時	8月21日(金)
場所・会場	海遊館/天保山マーケットプレイス
参加人数報告	計画：現役：209人／家族：323人／合計：532人 結果：現役：184人／家族：336人／合計：520人
実施方法の工夫	テーマを『海遊館わくわくプレミアムナイト』と題し、海遊館の貸し切りを実施し、普段体験できない海遊館のバックステージツアー、海遊館ホールでのアカデミー、海遊館前広場・天保山岸壁部特設広場での子どもたちの知識、知恵、感性を育む体験を実施し、大阪青年会議所ならではのプレミアムツアーの開催を致しました。
事業目的に達した点	記念モザイクアートを作成しての全体記念撮影を通じて、身近な存在と協力して作成したものを記念品として持ち帰ることにより、住み暮らす都市の中に存在する大切なつながりを認識したメンバーを溢れさせることができました。
事業目的に達しなかった点	各プログラムの入れ替えの時間の都合上、一部の方々にモザイクアートに参加して頂くことが出来ませんでした。また、モザイクアートの披露において、夜間の披露となったため全員の方々に見て頂くことが出来ず、目的に掲げた運動を発信する場を創り出すには不十分な部分がありました。

私たち、感性コミュニケーション確立委員会は感性価値を創造する都市大阪の実現のために有益な関係を築くメンバーを溢れさせる運動を展開してきました。

新年名刺交換会では別所理事長が掲げる熱い想いを主体者全員で共有することで、連綿と受け継がれてきた都市への想いを理解してもらうことができました。また、獅子舞の会場内練り歩きを実施し参加者の1年間の無病息災を祈願し、実施していく事業への布石としました。

そして、65周年記念式典では、ノーベル物理学賞受賞者の天野浩先生にご講演いただき、自身が培われてきた感性を伝えていただきました。また、OB現役交歓会では一流のエンターテインメントと料理を堪能してもらい、大阪青年会議所の贈り継いでいくべき想いを感じてもらいました。

さらに、家族会（感性コミュニケーション確立事業）では、大阪のランドマークである海遊館を貸し切りにして開催し、大阪青年会議所ならではの思考を駆使し、『海遊館わくわくプレミアムナイト』と題し、海遊館アカデミー、バックヤードツアー、有名芸能人による工作ショーなどのファンクションを体験してもらうことで、メンバーと家族に楽しんでもらうとともに家族間のつながりを認識してもらうことが出来ました。

それぞれの事業を通して、感性価値を創造する都市大阪の実現のために有益な関係を築くメンバーを溢れさせることが出来たと確信しております。

一年間、本当にありがとうございました。

Sei
Morinishi



委員長
森西 聖

スタッフ

幹事	副委員長	委員	岡本 英俊	神島 聡介	武田 智宏	長井 雅開	宮崎 真典
川崎 正嗣	石床 敏	浅田 雄太	尾崎 宏明	目 耕一	田中 利典	能浦 忠道	宮下 修
川崎 雄也	大野 英昭	渥美 宙	加藤 元之	笹川 理	谷村 英高	野口 美奈	村部 龍也
堀越 博一	奥村 直謙	池田 生大	河田 英之	節和 寿志	玉木 智哲	橋詰 香奈	山田 大介
和氣 良浩	小田 和幸	大井 健	岸野 亜弓	高木 大地	辻 直孝	範含美 ロニール	
	前田 貴弘	大谷 賢二	國武 浩紀	竹内 孝博	坪内 基真	藤重 智明	

04

General Affairs
Group

総務 グループ



General Affairs Office

総務室

Takayuki
Omori

室長

大森 貴之

本年は、常任理事 総務室 室長として、「感性価値を創造する都市大阪の実現」をめざして参りました。

総務室では、「Be the unsung hero!」をテーマに、志をもって未来を切り拓く137人の名もなき青年とともに創始の志を確立すべく活動を行ってまいりました。そして、各委員会のメンバー一人ひとりが当事者意識をもって、創始より公に貢献し続けてきた精神といきとしけるものへの感謝の念を受け継いで社会の求めるものを感じ取って先鞭となって行動し、自らが体現者として大阪青年会議所メンバーを感性豊かな青年へと導いて参りました。

渉外委員会では、大阪青年会議所の代表者として日本青年会議所に出向して頂いているメンバーの皆様の活動をお支えすると同時にその活動を大阪青年会議所メンバーに広く知って頂く機会を提供してまいりました。また、JCIセミナーを通じて、活動の意義や社会をRe・Designする青年経済人に相応しい見識とスキルを磨いていただく一助となりました。

そして、JCI大阪発信委員会では、年初より広報誌「センシア」を発刊し、対内・対外に向けて幅広く広報活動を計4回実施致しました。さらに、他委員会との連携によりマスコミュニケーションの媒体との広報活動を積極的に行い、大阪市特別区設置住民投票においては大きく取り上げる成果を残しました。

総務財政委員会は、年初より池田会議の取り仕切りから始まり、大阪青年会議所の広報戦略・コンプライアンス審査会議を除くすべての会議を設営し、大阪青年会議所の無形の資産である会議資料のとりまとめを一年間弛まず行い、組織の要を担う一翼としてその責を全う致しました。

また、3委員会が一致団結して天満市場での合同懇親会の企画と実施も担当させて頂き、内外に対して大阪青年会議所の存在感を感じてもらうことができました。

総務室は、2015年度の活動を通して自らに創始の志を宿し、他者のために自らが先鞭となって行動する気概に溢れた一人ひとりのメンバーの活躍によって他者の感性にポジティブインパクトを与え、感性価値を創造する都市大阪の実現への一助となったと確信しております。一年間、誠に有難うございました。

所属委員会

渉外委員会

JCI 大阪発信委員会

総務財政委員会

室テーマ

Be the unsung hero!

渉外委員会

基本方針

未来のために組織を力強く牽引し続けるメンバーを溢れさせます。

事業計画

私たちは、一人ひとりが果たすべき役割を自覚し、人々とのつながりの中で存在していることに感謝の念を抱き、互いの成長に向かって切磋琢磨する関係を築き、新たな価値を創造する高い志を携え、未来のために組織を力強く牽引し続けるメンバーを溢れさせます。

事業報告

1. 京都会議

事業の内容	日本JC事業への参加促進および支援
実施日時	1月22日(木)～25日(日)
場所・会場	京都市各所
参加人数報告	計画：300人 結果：278人
実施方法の工夫	186人のご出向者の皆様にLOMの一年間の支援態勢を感じて頂き、またご出向者の皆様にLOMに対する帰属意識を高めて頂くための相互関係を構築致しました。
事業目的に達した点	年初の日本JCの運動発信の場となる京都会議にて、JCI大阪メンバーが一堂に会し、出向者の門出を祝うとともに、互いの決意を新たに活動に邁進する気概を高めました。
事業目的に達しなかった点	動員目標300人に対し278人の結果となり、運動の広がりという点において達成することができませんでした。

2. 岡山大阪交歓会

事業の内容	LOM間交流の推進
実施日時	6月5日(金)
場所・会場	大阪市各所
参加人数報告	計画：26人 結果：26人
実施方法の工夫	例年と趣向を変えて、交流を深めることに重点を置き、皆様に楽しんで頂きました。
事業目的に達した点	友好LOM同志の65周年をともに称え合い、今後もさらなる発展に繋げていく為の交流を深めました。
事業目的に達しなかった点	特になし



京都会議



岡山大阪交歓会



近畿地区大会 草津大会

3. 近畿地区大会 草津大会

事業の内容	日本JC事業への参加促進および支援
実施日時	7月11日(土)～12日(日)
場所・会場	滋賀県草津市各所
参加人数報告	計画：300人 結果：330人
実施方法の工夫	出向者の支援は元より、ホテルのBBQ会場を貸切して、琵琶湖を一望しながらLOMナイトを楽しんで頂きました。
事業目的に達した点	岡部副会長をはじめとする、36人の出向者の支援を致しました。
事業目的に達しなかった点	特になし

4. サマーコンファレンス

事業の内容	日本JC事業への参加促進および支援
実施日時	7月16日(木)～19日(日)
場所・会場	横浜市各所
参加人数報告	計画：400人 結果：352人
実施方法の工夫	出向者支援は元より、次年度理事長内定の発表と山本特別顧問が次年度日本JC会頭に内定し16年ぶりに訪れた機会ということもあり、JCI大阪として日本JCの理事会はじめ、様々なファンクションにて圧倒的な存在感を発信すべくメンバーの皆様に参加して頂きました。
事業目的に達した点	山本特別顧問の次年度日本JC会頭受諾スピーチ並びに別所理事長の輩出LOM理事長挨拶を拝聴することで、JCI大阪としての誇りをさらに高めました。また、114人の出向者の支援を致しました。
事業目的に達しなかった点	動員目標400人に対し352人の結果となり、運動の広がりという点において達成することができませんでした。

5. 大阪ブロック 高槻大会

事業の内容	日本JC事業への参加促進および支援
実施日時	9月20日(日)
場所・会場	高槻市各所
参加人数報告	計画：200人 結果：206人
実施方法の工夫	出向者の支援は元より、同じ北地域の仲間として、JCI大阪として最大限の協力態勢を以て参加促進致しました。
事業目的に達した点	井上委員長をはじめとする、36人の出向者の支援を致しました。
事業目的に達しなかった点	特になし

6. 全国大会 東北八戸大会

事業の内容	日本JC事業への参加促進および支援
実施日時	9月24日(木)～27日(日)
場所・会場	青森県八戸市各所
参加人数報告	計画：200人 結果：229人
実施方法の工夫	東北初の全国大会において、遠方ではありながらも地域の魅力をしっかりと伝え、全国大会でないと訪れることの無い地域とうたい、より多くのメンバーに参加して頂きました。
事業目的に達した点	式典での山本次年度会頭演説はじめ、志同じくする仲間の卒業式の場集うことで、一年の労をねぎらい、またさらに高い目標に向かって邁進していく意欲を高めました。
事業目的に達しなかった点	特になし



サマーコンファレンス



大阪ブロック大会 高槻大会



全国大会 東北八戸大会

7. JCIセミナー

事業の内容	JCIセミナーへの参加促進
実施日時	5月18日(月)～10月21日(水)
場所・会場	大阪市各所
参加人数報告	計画：530人 結果：352人
実施方法の工夫	各セミナーの受講歴を記録し、メンバーのJCへの理解度、またセミナーの認知度など、メンバーの資質向上に繋げていけるようなデータの作成に取り組みました。
事業目的に達した点	各種セミナーを受講することによって、活動の意義を学び、また活動や社業に活かすことの出来るスキルアップをすることで、組織を力強く牽引し続ける爆発力を高めました。
事業目的に達しなかった点	受講者数530人目標に対し、352人の結果となり、運動の広がりという点において達成することができませんでした。



JCIセミナー

私たち、渉外委員会は『感性価値を創造する都市大阪の実現』に向かって未来のために組織を力強く牽引し続けるメンバーを溢れさせる運動を展開して参りました。

新年は、京都会議からはじまり、出向者の門出を祝うとともに、支援態勢の構築と大阪青年会議所メンバーとしての責任感を高めました。そして、友好 LOM でもあります岡山青年会議所と金沢青年会議所との交歓会を開催し、岡山青年会議所とは互いの都市の発展に向けての協力関係を再認識し、また、金沢青年会議所とは本年度開催されました世界会議 金沢大会への支援態勢を強化することができました。

サマーコンファレンス in 横浜では、日本青年会議所の本年度の運動の中間地点として、出向者の活動をより深く知り学び合い、さらなる活躍とつなげていくことのできる関係を確立しました。さらに、東北初の全国大会 in 東北八戸大会への参加では、卒業式典にて共に活動をしてきた仲間たちの卒業を祝い、また、出向者の集大成を最後まで支援し、さらなる目標を達成する意欲を向上させることができました。

最後に、半年間、計 9 回の JCI セミナーを開催し、メンバーの JC 活動への意欲向上、それぞれの社業に役立つ資質向上に努めて参りました。以上の活動を通じて、私たち渉外委員会が目的とする未来のために組織を力強く牽引し続けるメンバーを溢れさせることができましたと確信しております。

一年間、本当にありがとうございました。

Hidenori
Takahashi



委員長
高橋 秀智

スタッフ

幹事	副委員長	委員	井上 和樹	後藤 孝周	中西 彰吾	原田 裕康	前田 嘉博	村林 絵理
秋本 賢	河合 栄佳	浅岡 保裕	井上 摩美	崎 晴香	中畑 和貴	福岡 寛樹	眞下 幹弘	森岡 将太
岩元 義宏	中谷 龍太	池田 健志	榎本 剛士	芹菜 慶一	中村 秀吉	藤田 温香	松浦 太郎	森田 龍二
植本 彰	野田 良徳	石原 佑也	大谷 耕司	田中 良明	永本 俊秀	古田 久統	美崎 伸明	山出 敬太郎
田儀 利明	三品 龍介	石丸 健	花島 翼	塚本 慶太郎	西村 孝太郎	星山 樹賢	道野 弘済	吉谷 泰彰
	森本 大吾	石元 篤	草分 陽一	鳥越 明子	林 弘治	堀 感治	村岡 正規	和田 益明

▶ JCI 大阪発信委員会

基本方針

未来を切り拓く新たな風を起こす気概をもった
存在感溢れるメンバーを増やしていきます。

事業計画

私たちは、都市の課題に対して果たすべき役割を自覚し、関係する人々と有機的なつながりを築き、自らの組織に揺るぎない誇りをもち、周囲に共感をもたらす行動力を携え、未来を切り拓く新たな風を起こす気概をもった存在感溢れるメンバーを増やしていきます。

事業報告

1. 対外向け広報の実施

事業の内容	対外の人々に対して、大阪青年会議所の存在感を高めるための広報。
実施日時	通年
場所・会場	なし
参加人数報告	計画：なし 結果：なし
実施方法の工夫	従来からのホームページやFacebookでの活動報告に加え、本年度は広報誌「Sencia」の発刊、大阪JC公式LINEスタンプの発売など、より広く組織の存在感を発信しました。
事業目的に達した点	様々な広報手法を複合的に実施したことで、より多くの市民に大阪青年会議所の認知度を向上することができました。また同時に、メンバーに組織への誇りをより強くもってもらうことができました。
事業目的に達しなかった点	前半のメディア取り上げ数に比べ、後半は大きく減少してしまいました。一方的なプレスリリースに止まらず、メディア側のニーズを捉えた広報活動が必要です。

2. 会員向け広報の実施

事業の内容	メンバーに対して、活動報告などの情報発信。
実施日時	通年
場所・会場	なし
参加人数報告	計画：なし 結果：なし
実施方法の工夫	Facebookを通して各種事業の即時的情報発信のほか、ホームページや広報誌でのメンバー紹介コーナーなど、メンバーにスポットライトを当てることで、活動意識向上をめざしました。
事業目的に達した点	年間を通じて各種事業の活動報告を実施したことで、メンバーの組織への理解度と愛着心を高めることができました。
事業目的に達しなかった点	特になし

3. JCI褒賞事業へのエントリー調整

事業の内容	JCIアワード（ASPAC、世界会議）へのエントリー調整の過程において、事業分析の機会提供と、世界への運動発信を行う事業。
実施日時	3月30日(月)、4月6日(月)、6月14日(日)、11月7日(土)
場所・会場	JCI大阪事務局、JCI ASPACコタキナバル大会、JCI世界会議金沢大会
参加人数報告	計画：なし 結果：なし
実施方法の工夫	アワード受賞経験のあるOBを講師に迎えての勉強会を2回実施しました。また、日本JCのアドバイザーを効果的に活用することにより、より精度の高いエントリー原稿を作成しました。
事業目的に達した点	アワード勉強会を通して、メンバーに議案の背景と目的を再考する機会を提供することができました。また、ASPACでは10エントリーに対し3ノミネート、うち1つアワード受賞することができ、世界に向け運動発信の機会となりました。
事業目的に達しなかった点	世界会議では7エントリーに対し3ノミネート、アワード受賞は無しでした。他国の受賞原稿を分析し、勉強会などを通して指南していく必要があります。





私たち JCI 大阪発信委員会は、1,100 名を超える組織の広報の要であることを自覚し、内外に向けて継続的に広く有益な情報を発信することで、大阪青年会議所のブランディングは元より、メンバーの組織に対しての誇りと愛着心を醸成し、存在感溢れるメンバーを創出することを目的に 1 年間活動してまいりました。

ホームページや Facebook では、多数に及ぶ事業の活動を漏れなく情報発信し、大阪青年会議所への理解と共感を広げることを図りました。また、本年度新たな取り組みとして、広報誌「Sencia」を全 4 回発刊し、従来とは異なる側面での広報を実施いたしました。

また、メディア連携におきましては、本年度より外部 PR 会社に頼らず自力にて地道な宣伝活動を行い、多数の新聞記事掲載のみならず、幾度かテレビニュースでも取り上げていただく機会を得ることができ、広範囲な PR を実現することができました。

さらに時流に合った広報ツールとして、大阪青年会議所公式 LINE スタンプを制作し、メンバー間でのコミュニケーション活性や外部に対しての認知度向上に寄与できたと感じております。

他にも JCI 褒賞事業へのエントリー調整や広報戦略・コンプライアンス審査会議の運営など、組織の屋台骨である総務室としての役割を全うすることで、本年度大阪青年会議所のスローガンである「感性価値を創造する都市大阪の実現」に向けて、存在感溢れるメンバーを増やすことができたと確信しております。

最後に、メディアの方々をはじめご協力賜りました関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

Shinji
Goto



委員長
後藤 晋司

スタッフ

幹事	副委員長	委員	上野 肅公	河内 良	瀬川 岳夫	中川 康之	藤原 浩貴	山本 岳二
稲吉 大輔	池田 泰典	足立 崇	大西 正敏	北野 紀衡	世古口 佳典	西谷 俊也	前川 晃一	由本 和雄
清水 雅紀	奥田 勇	足立 洋平	大南 勝範	熊野 賢	高橋 弘樹	羽根 亨	榎本 昭之助	渡辺 有
速水 悠輔	近藤 陽介	今井 昌明	岡部 芳明	佐々 一樹	武中 龍国	林 成勲	増田 浩紀	
穂積 隼人	竹澤 理	岩崎 和仁	金本 裕己彦	更家 一徳	田中 盛雄	樋口 範義	皆川 友範	
	竹村 紀宏	岩永 将至	嘉納 秀憲	重田 博志	俵山 知宣	藤岡 亮	山口 雅典	

▶ 総務財政委員会

基本方針

変化の先鞭となって未来へつなげる気概を携えた感性豊かな青年を溢れさせます。

事業計画

私たちは、先人が培ってきたあらゆる財産を真摯に受け止め、仲間に尽くすことを自らの喜びとする心を有し、互いが成長する有益な関係を築き、組織を変革する柔軟な発想力を持ち、変化の先鞭となって未来へつなげる気概を携えた感性豊かな青年を溢れさせます。

事業報告

1. 池田会議

事業の内容	大阪青年会議所メンバーが年初に初めて会う仲間と懇親を深め、委員会・室の1年間の方向性を共有する事業。 また、本年度初めての総会を開催する場でもあります。
実施日時	1月17日(土)・18日(日)
場所・会場	不死王閣（池田市）
参加人数報告	計画：502人 結果：552人
実施方法の工夫	■総会時に各室ごとに方針を発表し、委員会の1年間の方針を知ってもらいました。 ■メンバー全員で懇親会を行い、新たなつながりを感じてもらいました。 ■委員会ごとに委員会部屋を用意し、委員会の方針と深くメンバーがつながる機会を創りました。
事業目的に達した点	当初の参加目標人数を上回る参加動員ができました。
事業目的に達しなかった点	特になし





2. 天満市場合同懇親会

事業の内容	天満市場の一筋を貸切りにし、大阪青年会議所メンバーと例会後に委員会の枠を越えた合同懇親会です。
実施日時	6月23日(火)
場所・会場	天満市場
参加人数報告	計画：300人 結果：362人
実施方法の工夫	天満市場の一筋を貸切り、各店舗でのメニュー・配列を考え、より多くのメンバーがいろいろな店舗で食せるスケジュールを作成しました。
事業目的に達した点	参加目標人数を上回る参加動員ができました。
事業目的に達しなかった点	人気店舗へのメンバーの偏りが見られました。





私たち総務財政委員会は、感性価値を創造する都市大阪の実現のために、『Be the unsung hero!』になるべく、組織の諸会議・総会の設営、大阪青年会議所全体による大懇親会の企画・設営を行い、組織の絆を深めるとともに、円滑な組織運営をめざす活動を実施させて頂きました。

年初に毎年開催される池田会議では、通常総会・臨時総会の設営及び運営と新たな仲間との絆を築く大懇親会の設営及び運営をし、毎月行われる理事会の設営や財務審議会に向けての総務財政委員会メンバーによる面談及び財務審議会の設営、理事選挙における投票準備や事務局機能の充実、委員会間の情報共有のための委員長ミーティング開催など、組織を想い、感性価値を創造する活動をして参りました。

池田会議での総会では、2015年度の室方針・委員会事業計画をメンバーの皆様にご説明することで、各委員会の1年間の活動や目標に向けての運動を共有することが出来ました。また、大懇親会では新たな仲間との絆を築く機会となり、2015年度委員会メンバーが一丸となって社会をRE・DESIGNをしていく気概を創る起点になったと確信しております。

そして、2015年度初めて行った天満市場合同懇親会においては、委員会の枠を越えた仲間との交流となり、新たな形でまちとのつながりを感じた懇親会を企画出来ました。より良い未来を築くために、一般社団法人大阪青年会議所がより強固な団結力を携えた組織に深化する一助となれたことを誇りに思います。1年間、本当にありがとうございました。

Naoto
Yoshida



委員長
吉田 直人

スタッフ

幹事	副委員長	委員	大串 安弘	隅田 唯	姫嶋 大輔	増永 充浩	山崎 宏詩
奥野 誠司	島田 健作	秋吉 忍	岡本 真行	竹内 慎也	福井 絵莉子	松本 篤志	山廣 昌司
樫元 雄生	瀧本 豊	池田 成範	奥 敦雄	田中 大輔	藤尾 雄一	丸富 成日	山本 展大
野崎 航祐	松島 慎治	石原 義明	金井 弘一朗	谷岡 俊英	藤浪 寛	森川 祐樹	山本 守
林 芳弘		一坂 正和	胡内 孝美	成田 圭子	藤原 隆博	山内 宰祐	山本 真理子

イノベーションに必要な意識・心構えを学ぶ。



一般社団法人 大阪青年会議所

65周年記念式典・特別記念講演

(共催：セネター会)

2015年8月4日(火) 17:00～

リーガロイヤルホテル大阪 3階 ロイヤルホール



受賞当時、天野教授のトレードマークとして、マスコミの注目を集めたウエストポーチ。この日もきちんと身につけてのご登場です。

2015年は大阪青年会議所設立65年の節目にあたります。これまで連綿と受け継がれてきた資産を次の世代へと確実につなげていくために、歴史を振り返り、めざす理想の実現に向けて想いを結集する機会として、「65周年記念式典」をセネター会との共催にて開催いたしました。

特別記念講演では、青色発光ダイオードの開発に成功した功績により、2014年にノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学大学院工学研究科教授の天野浩先生に、『学生～助手の頃を振り返って』と題してご講演いただきました。先生のご経験から、イノベーションを起こすために必要な意識や心構えを中心にお話いただきました。





名古屋大学大学院工学研究科教授
2014年ノーベル物理学賞 受賞者

天野 浩 先生

テーマ：「学生～助手の頃を振り返って」



天野浩(あまの ひろし)氏 PROFILE

1960年、静岡県浜松市生まれ。83年、名古屋大学工学部電子工学科卒業、88年、同大学院博士課程単位取得退学。89年、工学博士取得。2002年、名城大学理工学部教授、2010年から名古屋大学大学院工学研究科教授。96年、米国IEEE/LEOS エンジニアリングアチーブメント賞、98年、英国ランク賞、2014年、文化勲章、ノーベル物理学賞受賞。

パネルディスカッション

天野先生を含む3名の先生方に、
創造性を高める人材教育についてディスカッションを行っていただきました。

【パネラー】

天野 浩先生

鈴木 寛先生（東京大学教授・慶應義塾大学教授・文部科学大臣補佐官）

森 勇介先生（大阪大学大学院工学研究科教授）

1月 17日
池田不死王閣

講師

多摩大学大学院教授

田坂 広志氏



7月 13日
帝国ホテル大阪

講師

元 東レインターナショナル社長

田中 健一氏



2月 17日
帝国ホテル大阪

講師

シンガーソングライター

MINMI



8月 4日
リーガロイヤル
ホテル大阪

OB現役交歓会



3月 18日
帝国ホテル大阪

講師

慶応義塾大学大学院教授

岸 博幸氏



9月 18日
帝国ホテル大阪

理事選挙本コーカス



4月 20日
帝国ホテル大阪

講師

ジャーナリスト・評論家

田原 総一郎氏



10月 16日
帝国ホテル大阪

講師

学校法人新潟総合学園総長・理事長
／アルビレックス新潟取締役会長

池田 弘氏



5月 11日
池田不死王閣

講師

マーケティングコンサルタント

西川 りゅうじん氏



11月 16日
帝国ホテル大阪

講師

株式会社今治、夢スポーツ代表取締役

岡田 武史氏



6月 23日
帝国ホテル大阪

講師

ヤマト運輸株式会社 岩手主管支店
営業企画課課長

松本 まゆみ氏



12月 8日
リーガロイヤル
ホテル大阪

会員大会





参加者は約800名。30メートルワイドスクリーンを駆使した映像と縦型のテーブル配置といった“五感に訴える演出”、さらに、卒業生贈呈のエンターテインメントとしてBEGINのLIVEが加わり、2015年度会員大会・卒業式は、大いに盛り上がりました。

会員大会・卒業式

2015年12月8日（火） 17:30～ リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間





アワードセレモニー・理事長引き継ぎセレモニーに続き、
厳かにスタートを切った2015年度卒業式。

2015年度卒業生・115名に向けて、
現役メンバー代表・城阪次年度理事長より送辞が述べられ、
答辞は、津和副理事長が卒業生を代表して務めました。

最後に、会場中央に設けられた花道を歩く卒業生を、
現役メンバー全員で見送ります。

現役メンバーからの花束を受け取る頃には、
多くの卒業生の目に涙が……。

JAYCEEとしての互いの健闘をたたえあうとともに、
次へのスタートを胸に誓うのです。



歴代理事長の介添えによりプレジデンシャルリースが
別所理事長より城阪次年度理事長へと伝達されました。



2015 年度 会員褒賞



■ 理事長特別賞

叶 裕一（ソーシャルデザイン委員会）
菊地 正吾（グローバルデザイン委員会）



■ JC 運動推進賞

富田 かおり（会員開発山本委員会）
江川 浩司（グローバルリーダー育成委員会）
寺岡 龍朗（感性価値創造委員会）
小田 和幸（感性コミュニケーション確立委員会）



■ 最優秀委員会賞

会員開発委員会河野委員会



■ 優秀委員会賞

会員開発委員会山本委員会
未来のリーダー育成委員会



■ 最優秀事業賞

未来の力創造事業の企画と実施（未来の力創造委員会）



■ 優秀事業賞

グローバルデザイン事業の企画と実施（グローバルデザイン委員会）
グローバルリーダー育成事業の企画と実施（グローバルリーダー育成委員会）



■ 最優秀会員賞

津和 邦嘉



■ 優秀会員賞

小嶋 康太（大阪の未来選択委員会）	戎 健太郎（グローバルデザイン委員会）
橋詰 源一郎（会員開発山本委員会）	松原 誠道（チェンジメーカー創造委員会）
古賀 大介（感性価値創造委員会）	田儀 利明（渉外委員会）



■ 最優秀新人賞

小倉 康宏（会員開発山本委員会）



■ 優秀新人賞

松田 佳名（大阪の未来選択委員会）

松下 淳一（社会の力創造委員会）

岡口 忠嗣（グローバルネットワーク確立委員会）

中尾 航志（未来の力創造委員会）

中村 文彦（グローバルリーダー育成委員会）

林 芳弘（総務財政委員会）

山本 哲史（ソーシャルデザイン委員会）

石井 孝昌（グローバルデザイン委員会）

堀中 政則（会員開発河野委員会）

中尾 武史（未来のリーダー育成委員会）

稲吉 大輔（JCI 大阪発信委員会）



■ 最優秀出向者賞

若松 耕三（会員開発河野委員会）



■ 優秀出向者賞

木下 孝祐（ソーシャルデザイン委員会）

友綱 満（未来の力創造委員会）

杉山 一穂（未来のリーダー育成委員会）

嘉納 秀憲（JCI 大阪発信委員会）



■ 功労賞

津和 邦嘉、小川 徹朗、森田 哲通、佐藤 裕介、佐々木 琢郎、山崎 豊和、大森 貴之、田中 忠和、山本 健一郎、坂井 征司、後藤 晋司



■ 特別功労賞

別所 大作



■ 月例会多年皆出席賞

2年間 大森 貴之、坂井 征司、中川 知子、板東 学、溝畑 泰生、茗荷 崇之、山崎 豊和、吉山 晋市

3年間 小川 徹朗、谷川 安徳、本元 宏和

4年間 佐々木 琢郎、森田 哲通

6年間 別所 大作

7年間 津和 邦嘉

9年間 江川 浩司

2015 年度 メディア掲載一覧

2015 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日

日付	ジャンル	媒体名	見出し・内容
1月1日	一般紙	産経新聞（広告）	感性価値を創造する都市大阪を実現しよう～感性を磨き、未来を創造～
1月26日	一般紙	日刊ケイザイ	感性価値を創造する都市大阪の実現
2月10日	一般紙	産経新聞	17 日、大阪青年会議所公開例会 MINMI さんライブやトークイベント
2月18日	インターネット	ヤフーニュース	MINMI、地元大阪で今年最初のライブ ファンの感激ツイートに「ありがとう」
2月20日	インターネット	京橋経済新聞	大阪青年会議所と MINMI さんの「社会貢献活動推進セッション」に 1000 人
			大阪青年会議所 & MINMI - ライブの様子
			大阪青年会議所 & MINMI - MINMI さん
			大阪青年会議所 & MINMI - 記念撮影
2月20日	インターネット	ヤフーニュース	大阪青年会議所と MINMI さんの「社会貢献活動推進セッション」に 1000 人
2月28日	一般紙	大阪日日新聞	MINMI さんライブに千人
3月14日	一般紙	大阪日日新聞	きょうから意識調査—大阪 JC
3月18日	一般紙	大阪日日新聞	大阪 JC 調査序盤まとめ「投票行く」6 割超
3月22日	テレビ	朝日放送「ABC NEWS」	大阪青年会議所「都構想」街頭アンケート
3月23日	テレビ	毎日放送「テレビタ刊」	大阪青年会議所「大阪都構想」アンケート
3月23日	一般紙	読売新聞	大阪 JC アンケート「都構想」投票気運高めたい！
3月23日	一般紙	朝日新聞	「住民投票の判断材料に」JC と大学生がアンケート
3月23日	一般紙	日本経済新聞	都構想住民投票「関心持って」青年会議所 1 万人調査
3月24日	テレビ	テレビ大阪「NEWS α」	大阪都構想 青年会議所が 1 万人アンケート調査
4月4日	一般紙	大阪日日新聞	「知らなかった」2 割 都構想住民投票アンケート公開 大阪 JC
4月4日	インターネット	大阪日日新聞	「知らなかった」2 割 都構想住民投票アンケート公開 大阪 JC
4月27日	一般紙	産経新聞	両意見掲載の冊子配布 大阪 JC
4月27日	一般紙	朝日新聞	JC、解説冊子を配布
4月27日	一般紙	読売新聞	JC が冊子配布
4月27日	一般紙	日本経済新聞	青年会議所が冊子 駅周辺で投票訴え
4月28日	一般紙	毎日新聞	JC が環状線全 19 駅でパンフレット配布
4月27日	テレビ	朝日放送	11：45 ～ ANN ニュースで紹介されました。
4月29日	一般紙	大阪日日新聞	当事者意識持って 住民投票「判断材料に」冊子配布 JCI 大阪
5月10日	一般紙	大阪日日新聞	都構想の判断材料に 大阪 JC12 日に冊子配布
5月14日	一般紙	大阪日日新聞	投票参加促す冊子配る JC
5月18日	一般紙	産経新聞	「大阪変革塾」開塾

日付	ジャンル	媒体名	見出し・内容
7月7日	一般紙	日本経済新聞	日本青年会議所会頭に山本氏
7月7日	一般紙	産経新聞	日本青年会議所会頭に山本氏
7月8日	一般紙	大阪日日新聞	日本 JC 会頭に山本氏内定 日本 JC 大阪から 16 年ぶり
7月22日	一般紙	読売新聞	理事長に城阪氏内定
7月26日	一般紙	大阪日日新聞	大阪青年会議所理事長に城阪氏
9月6日	一般紙	産経新聞	女性活躍企業から経営のヒント学ぶ 大阪青年会議所がフォーラム
9月16日	一般紙	大阪日日新聞	出産、育児で成長 大阪 JC が女性活躍シンポ
10月4日	一般紙	大阪日日新聞	大阪の課題打開策示す 大阪 JC 「変革塾」
10月5日	テレビ	eo 光テレビ	大阪変革塾公開プレゼンテーション
10月5日	一般紙	産経新聞（広告）	今話題の金沢で大阪の魅力を世界に発信
10月28日	一般紙	産経新聞	小学生が大阪の名所を探検 大阪青年会議所が主催

「元旦・全面広告」（JCI 大阪発信委員会）



産経新聞（1月1日）

「MINMI ライブ&トークショー」 （感性価値創造委員会）



大阪日日新聞（2月28日）

「理事長インタビュー」



日刊ケイザイ（1月26日）



京橋経済新聞（2月20日）

「5.17 住民投票」(大阪の未来選択委員会)

運命の日 カウントダウン

都構想 住民投票へ



大阪の選挙

大阪JC調査「投票行く」6割超

大阪JC調査「投票行く」6割超。大阪JC調査「投票行く」6割超。大阪JC調査「投票行く」6割超。

「分りにくい」特別区や財政効果で困惑

市民の声

大阪JC調査「投票行く」6割超。大阪JC調査「投票行く」6割超。大阪JC調査「投票行く」6割超。

大阪日日新聞 (3月18日)



朝日放送 (3月22日)



毎日放送 (3月23日)



テレビ大阪 (3月24日)

JC、解説冊子を配布

大阪青年会議所(大阪JC)は、大阪都構想賛成派の主張をまとめた解説冊子を配布している。冊子には、大阪都構想のメリット、デメリット、そして住民投票の重要性について詳しく説明されている。冊子の配布は、大阪JCの各支部で行われている。

朝日新聞 (4月27日)

「住民投票の判断材料に」JCと大学生がアンケート

JCと大学生がアンケート。大阪JCと大学生が、大阪都構想に関するアンケートを実施した。アンケートの結果、住民投票の判断材料として、大阪JCと大学生の意見が示されている。

朝日新聞 (3月23日)

大阪JCアンケート

都構想「投票機運 高めたい」



大阪JCアンケート。大阪JCと大学生が、大阪都構想に関するアンケートを実施した。アンケートの結果、住民投票の判断材料として、大阪JCと大学生の意見が示されている。

読売新聞 (3月23日)

都構想住民投票 関心持つて

大阪の「かたち」



大阪JCと大学生が、大阪都構想に関するアンケートを実施した。アンケートの結果、住民投票の判断材料として、大阪JCと大学生の意見が示されている。

日本経済新聞 (3月23日)

都構想賛成反対の両派 市民との「双方」重視

投票参加促す冊子配る JC



大阪JCと大学生が、大阪都構想に関するアンケートを実施した。アンケートの結果、住民投票の判断材料として、大阪JCと大学生の意見が示されている。

大阪日日新聞 (5月14日)

大阪の課題 打開策示す

大阪「企業革新塾」の塾生100人が主催する「大阪青年会議所（JCI）」が主催する「大阪産業塾」の塾生100人は2日、グランフロント大阪（大阪市北区）で社会的な課題を解決するためのビジネスプランのプレゼンテーション大会を開いた。塾生たちは大阪が抱える課題に対し、打開策を示した。



開始。多摩大学大塚分校で塾頭を務める田坂宏志氏らの講義のほかに、グループに分かれた生たちは大阪が抱える課題に対し、打開策を示した。

プレゼンテーションには10組が登場し、農産物や雇用などについて、各グループが自ら

ネスとサービスにした解決策を提案。このうち、中小企業に関わる人々のグループは「社長ラポート論」を提案。機織を足に履く中小企業を数多く、研修を終えた若手補手を中小企業が指名する仕組みを説明した。

主催者大阪JCIの理事大伴建雄氏は「塾生には、これからのリーダーとして日本を引っ張ってもらいたい」と激励した。

この日は、田坂塾頭の講演もあり、満席や好意に基づくと「ボランティア」「経済」の重要性を強調、「こうした経済活動に基き知識や信頼といった見えない資本が、21世紀の経済上の力を結した。」

**女性活躍企業から
経営のヒント学ぶ**

大阪青年会議所がフォーラム

女性が活躍する企業は、多様な人材を雇用することを意味するダイバーシティをテーマに「働く女性の視点から、ものづくりからはじまれている」と指摘し、「女性の活躍はダイバーシティの第一歩ではあるが、女性も男性も多様な視点で貢献することが重要」と語り、女性の感性を生かして成功している在阪企業の経営者によるパネルディスカッションも行われた。

[illegible]

あべのハルカスのバックヤード
ツアーで説明を受ける参加者

青年会議所会頭に山本氏
日本青年会議所は6日、2016年度の会頭に山本貴金属地金(大阪市)副社長の山本樹青氏を内定したと発表した。16年1月1日付で就任し、任期は1年。

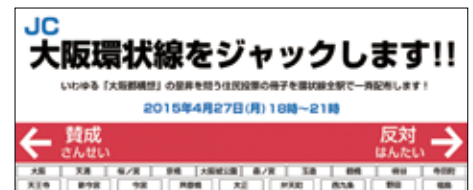
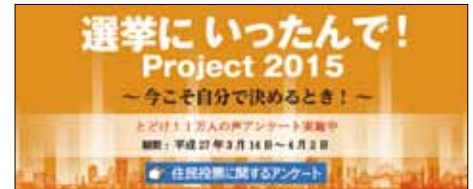
理事長に城阪氏内定
大阪青年会館所
大阪青年会館所は、別所
大伴理事長39の後任に本
勲産業、松栄（大阪市）の
社長を務める城阪千太郎
理事長39が就く人事を内
定した。

10月に開く総会では正
式に決める。任期は200
6年1月1日から1年間。

2015 年度 主な広報制作媒体 (委員会別)

2015 年 1 月 1 日～12 月 31 日

大阪の未来選択委員会



大阪の未来選択事業 (5 月 17 日住民投票)
パンフレット・バナー

ソーシャルデザイン委員会



ソーシャルデザイン事業 (11 月 14 日
「来て観て大阪 FESTA」) チラシ・のぼり・会場 MAP

社会の力創造委員会



社会の力創造事業
(9 月 5 日「TOYP フォーラム～女性と共に進化する企業へ～」)
チラシ・バナー

グローバルデザイン委員会



グローバルデザイン事業 (11月7日～8日「OSAKA おおきにFESTA」)
のぼり・チラシ (日本語・英語版)・横断幕・バナー

会員開発委員会



新入会員拡充事業 チラシ (2種)・名刺サイズリーフレット
なにわ淀川花火大会運営協力 (8月8日～9日) チラシ (一般向け・企業向け)

未来の力創造委員会



未来の力創造事業 (5月31日「わんぱく相撲」) ポスター・チラシ
(10月10日～12日「キッズアドベンチャー2015」) ポスター・パンフレット・バナー

未来のリーダー育成委員会



社会人講師事業（4月～随時） チラシ（講師向け・学校向け）・バナー

チェンジメーカー創造委員会



PCY2015 カンボジア実感研修事業（8月22日～25日） チラシ
PCY2015 フォーラム（8月30日） チラシ

グローバルリーダー育成委員会



グローバルリーダー育成事業（6月6日～10月18日「大阪変革塾」） チラシ・バナー

感性価値創造委員会



感性価値創造事業（月例会） チラシ・パナー

感性コミュニケーション確立委員会



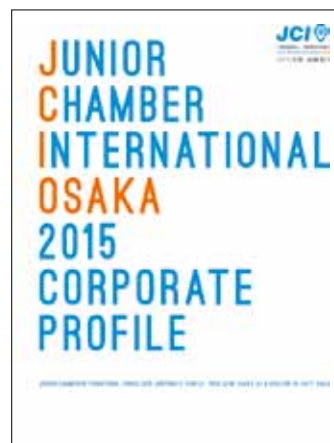
感性コミュニケーション確立事業（8月21日「家族会」） チラシ

渉外委員会



京都会議 (1月22日～25日) チラシ・横断幕
サマーコンファレンス (7月16日～19日) チラシ・パナー
JCI セミナーへの参加促進 チラシ

JCI 大阪発信委員会



広報誌『Sencia』Vol.1～4
大阪 JC 公式 LINE スタンプチラシ
ファクトブック
なにわ淀川花火大会 (8月8日) 弁当箱・パナー (協賛広告)

REFDESIGN

别所大作

編集後記

2015年度、一般社団法人 大阪青年会議所は、別所大作理事長の掲げる「感性価値を創造する都市大阪の実現 ～社会をRE・DESIGN～ 五感を研ぎ澄まし未来を創造する！」をスローガンに、1年間さまざまな運動を展開いたしました。

特に本年は大阪青年会議所設立65周年、戦後70年にあたり、65周年記念式典や新規事業など節目の年に相応しい事業を数々実施いたしました。

私たちの団体の理念、活動の目的・内容・成果を1人でも多くの市民の皆様にご理解をいただくために、本書を編集させていただきました。

大阪青年会議所の活動にご共感いただき、今後ますます社会貢献活動の輪が広がれば幸いです。

最後に、多大なるご協力をいただきました大阪市をはじめとする行政機関、関係諸団体、メディア、企業、市民の全ての方々にご心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

総務室 JCI 大阪発信委員会
委員長 後藤 晋司

企画・編集 総務室 JCI 大阪発信委員会

発行 一般社団法人 大阪青年会議所

〒552-0007 大阪市港区弁天 1 丁目 2 番 30 号オーク 4 番街 401 号

TEL 06-6575-5161 FAX 06-6575-5163

<http://www.osaka-jc.or.jp>

発行日 2016年3月

制作 株式会社 どりむ社

印刷 株式会社 恒和プロダクト